夕刊
滿洲日報
二月二十三日
發行所

民政黨絕對多數を占め政界漸やく安定を見る
政・民兩派の開き遂に百一名
第二次普選の收穫

【東京特電二十三日發】與黨か將た野黨か、天下の耳目を聳動した普選第二次總選擧の開票は二十三日拂曉を以て鹿兒島縣第三區を除き全部終了を告げた、結果は一般の豫想を遙かに凌駕し民政黨は驚異的多數を獲得して斷然他派を壓倒し去つた、而して最後に殘される鹿兒島縣第三區は正午頃までには、開票を完了したが既に民政黨は二百七十三名を占めてをり同第三區定員三名中二名政友會となりたるも政友は百七十三名に過ぎず從つて政民の開きは實に一〇一名の多きに達し茲に政、民は解散前と全く其地位を顚倒するに至り、民政黨は絕對多數により政界の安定を得、同黨の主義政策を思ふ存分遂行することゝなつた、今選擧に依る各派の分野並に解散前の分野は左の如くである

	新當選數	解散當時
民政	二七四	一七四
政友	一七三	二三八
社民	二	四
大衆	二	二
勞農	一	〇
地無	〇	一
革新	三	二
國同	六	二
中立	五	二
缺員	〇	二一
合計	四六六	四六六

議長候補は藤澤氏
副議長も或は與黨より推さん
落選兩參與官と後任

【東京廿三日發電】民政黨は絕對多數を制するに至れるを以て來る四月の特別議會劈頭の議長選擧に於ては藤澤幾之輔氏を議長候補に推し同氏の當選を見るべく又副議長は友黨の關係上從來通り革新黨の清瀨氏を推すべしとの說あるも一部は絕對多數を制する以上正副議長共我黨で獨占するが當然であるとの說も有力となつて居る、尙落選せる内ケ崎内務、岩切商工兩參與官は近く辭任すべきを以て其後任には早くも加藤鯛一、一宮房治郎、野田文一郎、平川松太郎、櫻井兵五郎の諸氏が擬せられて居る

三選擧區得票數
二十三日朝判明の分

【東京二十三日發電】今朝判明した熊本縣第二區、鹿兒島縣第二區沖繩全縣一區當選者の得票數左の如し

熊本縣第二區

一四〇四二　寺田　市正(政前)
一三一〇六　東郷　實(政前)
一二七九五　崎山　武夫(政前)
次點一二七〇九赤塚　正助(政前)
落選　尾崎末吉、逆瀨川仁次郎、天辰正守、加納喜七、富吉榮二

鹿兒島縣第二區

一六五六六　山本　實彥(民新)

沖繩縣(全縣一區)

一四八〇〇　當眞　嗣合(民新)

一三三八〇　漢那　憲和(民前)

一七三八五　中野　猛雄(政前)
次點一六二〇九上塚　司(政前)
落選　芥川忠雄

一一四二八　仲井間宗一
一一三三〇　伊禮　肇
九〇九六　崎山　嗣朝
次點七六〇九　花城　永度
落選　渡久山寬常、國原賢徳、城朝功、竹下文隆、龜川哲

熊本縣第二區

二五八二八　深水　清
二二六〇七　宮崎　高四
二二四〇〇　安達　謙藏
一八三八五　中山貞雄

干涉呼ばはりは敗者の悲鳴
選擧を常道に引戻した
富田民政幹事長談

【東京廿三日發電】民政黨富田幹事長は語る

今回の總選擧の結果が豫想以上の好結果を收めて民政黨が壓倒的大多數を贏ち得たるは全く現内閣の政策が輿論の支持を得た事を立證するもので吾々の努力も輿論の前には物の數ではないものと言ひ得る、然るに意外なる結果を見て干涉等と非難して居るのは敗者の悲鳴であつて取るに足らぬ言ひ分である、視察員の報告を見ても取締りは公正で警察官の……

干涉した跡は認めないと言つて居るに徵しても現政府が言論文章を重んじ選擧取締りを嚴重にしたるを立證するに足る、要するに第一次の普選に於いてゆがめられたる選擧を今次の選擧により常道に引き戻し眞に普選らしき選擧を行はしめ國民の意思……

われらは正しき戰を闘つた
冷靜に今後の政戰に邁進
森政友會幹事長談

【東京廿三日發電】森政友會幹事長語る

開票の結果は全く我黨の敗北に終つた、元より立憲政治の根本的本義に基づき我々は此開票の結果について之を一時的なる形式上國民の

意思の現はれと見ざるを得ぬ而して我黨は其戰ふ時我黨は總裁より全黨員に至るまで誠心誠意最善を盡し力の賴むべくなく官憲の壓迫なく所謂素而素小手の正しき戰をなしたるもので政界の淨化、選擧の革正に對しては我黨は積極的に良く盡し得たと考へる、然し今日の世相に於いて朝野の政治的責任に於いて國民の票が自由に働き得たとせば果して今日の結果を見るべきにあらずと確信する、政府並びに政界の革正を唱へ政界の淨化をなせるに拘はらず國民の

自由意思は遺憾ながら現内閣の手によつて蹂躙されたのであつて昭和聖代の……

政戰十八囘目に思はぬ不覺
政界引退には良い機會だ
敗將元田肇氏語る

北滿大豆を露領に移植
滿鐵に種子註文

政黨首腦を訪ひ最後の猛運動へ
製鋼所問題上京委員

南京建都二周年

此際一層輿論喚起
篠崎書記長談

安義代表も上京運動

勞務上に有利
新式ショベルを輸入
鞍山製鐵所竹藏氏の歸朝談

露支國境の防備方針を變革
今後は興安嶺中心に

遼寧鐵道工場の規模

政友今後の方針
選擧壓迫の材料蒐集

【東京廿三日發電】總選擧の結果については政友會の……の狀態であるが二十……部には犬養總裁をはじめ……谷選擧委員長、森幹事長……島田、熊谷、森三氏……

軍事會議を續行
奉天派幹部百廿餘名

當落選擧後日譚

日曜閑話

◇…北白川永久王晴れの御成年式

陸軍士官學校に御在學中の北白川宮永久王殿下には本月十九日を以つて滿二十歲の御成年に達せられたので午前八時五十分御初の公式鹵簿に召され近衞二十五騎の儀仗兵を從はせられて宮中に參内賢所大前に於いて嚴かに晴れの御成年式をあげさせられた(寫眞は參内の永久王)

天氣豫報

各地の溫度

暴風警報

人事

あめりか丸

農業界の新發見
(無代進呈)(案内書)

農業教育會

米峰曰はく

高島米峰著

警邏船の遼海丸に重機關銃を備へる

船尾の五ミリ備砲ゝともに いよく威力發揮

海賊討伐、漁船保護、海難船の救援或ひは海上演習等に使用されてゐた大連水上署所有警邏船遼海丸は出動命令と共に何時にても出帆し得る樣に用意が常備されてゐるしかして四月終りより五六月にかけて黄華魚、鯛の漁期も近づいて來たのでかねてより水上署においては同船に對し更に救援警護の意義を徹底せしめ同船の効果を强める意味で機關銃を設置する事を希望しこの旨警務局に具陳中の處漸くこの程目的が叶ひ廿三日午前、關東軍兵器部より支給を受けた三年式重機關銃一基が關東廳經由同署宛届け出でられた、かくて遼海丸はさきに貔子窩沖に於て海賊船を爆沈せしめた船尾の備砲五ミリ砲一基に更に精鋭なる武器を具備する事となつた譯である尚廿四五兩日に亘り特に柳樹屯聯隊より大隊副官が出張これが使用方につき説明の上教授する事になつてゐる

登龍門に集る無名の勇士

三十七チームが覇を爭ふ 無段者團體柔道戰

滿洲柔道界の登龍門とも稱すべき大連講道館主催の第八回全滿洲無段者團體優勝旗爭覇戰は廿三日午前九時より大連滿鐵道場に於て擧行された、榮ある覇權を目指して御膝下の大連は勿論、撫順、奉天鐵嶺等沿線より馳せ參じたる無名の勇士等卅七チーム、控室は動きもならぬほどうづめられ應援の人々もさしも廣き道場をうづめ戰前すでに活氣を呈す九時前年度の優勝チーム大連一中より伊佐副會長の手に榮ある優勝旗返還され審判上の注意ありて愈々東西に別れ火花散り押相磨す試合は開始され各回とも接戰を演じたが正午迄の戰績左の如くである

▲豫備戰
二中 二―〇 大連警察
沙河口 三―〇 旅順警察
大連商業 三―〇 撫順園
鐵道經理部 一―〇 醫大C組
技倆伯仲し戰前の評にたがわず大接戰した太田(鐵)對山崎(醫)で太田袈裟固めでまづリードし後大將大野挽回すべく大いに努めたが遂にならず惜敗す
撫順二組 二―一 工大

▲一回戰
沙河口A組 〇―一 遼陽
四將松尾(遼陽)右大腰で藤井を倒す
憲兵隊 三―二 大石橋
二對二の大接戰を演じ貫木對二宮は引分け宮川(憲)對荒金(大)は袈裟固めで荒金を倒し辛勝す
育成 一―〇 工事C
三將迄引分け好漢山野(育)足拂ひで工事を倒し貴重な一點を擧

馬賊侵入し一千元强奪

牡丹江の邦人方を襲ふて

【ハルビン特電二十三日發】十八日牡丹江宮崎某方に六名の支那馬賊侵入し居合せた井口前民會長、山内木材公司員、山本龜太郎等から約一千元を强奪逃走した

鐵嶺 一―〇 大石橋
全部引分けとなり重責を背負ふて江口(大)日高(鐵)立つ兩者技を盡して戰つたが遂に日高の袈裟固めで名をなさしむ
大連西部警察 一―〇 沙河口道
副將佐藤(大)輕く内股で倉橋を倒す

白晝兩替店を襲ふ

奉天に自動車强盜頻り

【奉天特電二十三日發】二十三日午前八時半頃目拔の浪速通り入番地兩替店長發銀號方に一名の支那人が支那側一九號自動車で乘り付け客を裝ふて侵入し突如拳銃で脅迫の上金、現大洋、奉天票取混ぜ四百圓を强奪し自動車に飛乘り城内方面に逃走した、春先きになると自動車强盜事件がよくあるので奉天署では大警戒をなしてゐる

共産大學の日本留學生減る

異彩を放つ中條女史

莫斯科からの土産話

【ハルビン特電二十三日發】最近モスクワから歸來した人の談によると「モスクワでは毎年日本から共産大學に留學生として來るものが約三十名ゐるが、本年は日本國内に於ける共産黨檢擧で今は僅かに數名に過ぎない、邦人中で特に異彩を放つてゐるのは中條百合子と佐々木芳子の兩女史が盛に原稿生活をしてゐる、中條百合子女史は近くシベリア經由歸國する由である、兩女史の手によつてロシア文學も幾分紹介されることだらう

國賓待遇の片山潛氏は農事研究所に關係し極東の日本、鮮内に對する政策が餘り面白くないので昔日の面影はない政府は公娼制度を廢止したが

私娼が跋扈し其取締にはかなり惱まされてゐる、要するに社會的にみてよい處もあるが仲々に共産化が現實に徹底せぬので非常な盾矛に苦しんでゐると

物凄い人氣に卓球大會始まる

會場にファン三百名

體育堂主催本社後援の第五回體育卓球大會は廿三日午前九時より常盤小學校講堂に於て擧行された無慮約三百のファンにとりまかれ各箇處より選ばれた選手は之等應援の人々の聲援に勵まされ白球飛び熟球躍つて試合は開始された午前中の勝負左の如くである

▲大連商業五―〇電鐵A
上田 三―〇 岩爪
岩崎 三―〇 太田
白石 三―〇 森谷
沖田 三―〇 森田
喜田 三―〇 島山

▲用度A五―〇
山路 三―〇 高橋
谷口 三―〇 山田
齋藤 三―〇 大川
富田 三―一 田中
渡邊 三―〇 和泉

▲滿消クラブ五―一滿洲銀行
中井 三―〇 木原
深江 三―〇 工藤
丸尾 三―一 櫻井
藤田 三―〇 上旗
西脇 〇―三 土肥
中井 三―〇 土肥

▲天狗五―〇埠頭
埠頭棄權して天狗勝つ

中谷局長から消防旗授與

消防署の開廳式 けふ華々しく擧行さる

獨立した大連消防署開廳式は二十三日午前十一時より市内願津町消防署において華々しく擧行された朝來の天なれど氣溫春めきて旅大及び沿線各地からの來賓多く約三百名、定刻――署の裏庭は櫻花と幔幕を巡らせて明るく飾られ正面の式場には主なる來賓席を占め、勇ましき消防喇叭を合圖に式場の前面には今井署長以下署員八十五名、組員六十名が整列する、斯くて榮ある消防署の前途を象徴する消防旗は中谷警務局長の手から嚴かに今井署長に授與、更に組消防旗は中谷警務局長から伊藤組頭に授けられ、それより左の來賓の祝辭が朗讀された

太田關東長官(水谷地方課長代理)大連民政署長(富田庶務課長代理)田中市長、仙石滿鐵總裁(保々滿鐵地方部長代理)南滿電氣横田常務、記者協會(大連實業社長)大連公議會長

これに對し今井署長の答辭があつて式を終り、一同記念撮影の後、署前に於て消防實演の妙技を行ひ來賓の感興を湧かせた、かくて午後一時より裏庭における祝賀の宴に移つた【寫眞は消防旗授與式】

夫を絞殺して情夫と同棲

二ケ月死體を押入に投げ込み 良心の呵責から心中

【東京廿三日發電】廿二日午後四時廿分頃東京市外瀧の川町字中里千四百七十番地東京鐵道局貨物係雇中西龜治(三七)内縁の妻キクヨ(三七)は情夫市外高田雜司ケ谷九百七十八番地白井方同居人桂川正雄(二三)と毒藥心中を圖り

苦悶中 同時頃に訪れたキクヨの實母たか(五三)が發見手當を加へ事情を聞くと兩名は昨年十二月廿四日夜共謀して龜治を絞殺し死體は押入れに投げ込んだ儘二ケ月を經た今日迄不義の同棲生活を續けて居たと申し立てたので母は驚き苦む二人を自動車で瀧の川署へ自首して來た

キクヨは昨年七月以來龜治と同棲してゐたが、八月出張旅行中に佐藤が留守宅に入り急速度に

不倫の 關係におちていつたもので犯行後二人は常に良心の苛責に堪へかねたらしく廿二日キクヨは母を呼び寄せると共に二人は自殺を圖つたものである

感奮興起出世談

低能だ、白痴だと學校時代笑はれ者の少年が、奮起一番意外の大出世、見よ!一讀思はず泣かされる富士三月號の事實物語! 廣告

マッチ工場で不良工暴行

邦人數名重輕傷を負ふ 青島の爭議惡化

【青島特電二十二日發】過般來の紡績工場の爭議は不良職工の解雇により益々形勢惡化の傾きであるが、二十二日午後五時頃遂にあらゆる手段を以て工場を妨害しつゝある青島マッチ工場に飛火し約五十名の不良分子が同工場を襲撃し窓硝子を破壞し表門を叩き破つて暴行を働きこの騷ぎに邦人數名重輕傷を負ひ日支官憲出動嚴戒中

早春家出レヴユウー

喧嘩に花を咲かした夫が 搜査中に定期船で内地へ

市内八幡町二番地安部丹治は廿三日夜妻ノブ(二五)と些細の事より喧嘩口論をおつぱじめたがカツとなつて妻ノブは前後の考へもなく家を飛び出したので初めの中こそ喧嘩に花を咲かせてゐた夫丹治も冷靜になると共に不安がつのり或ひは不祥事でも引起してはすまいかと蒼くなつて大連署水上署等に搜査願ひを提出するところあつたしかるに水上署で調査したところ同女は赤革トランクを持つて丸髷に結び美々しく飾り立て丁度折柄の出帆はるびん丸に乘船内地に向つた事が判明したのでこの旨夫に通知すると共に門司水上署宛手配するところあつた

妻の家出から五名を射殺

實家で隱したと思ひ込み 逆上し獵銃で慘劇

【新潟二十三日發電】長野縣上水内郡古間村原正雄は二十二日午前二時頃妻トキの實兄新潟縣西蒲原郡小池村大字柳山農業藤澤惣藏(四)及び同人母チヱ及び三島郡大河津村大字新長野口梅吉の妻スミ(三)と自分の長男安政(八つ)長女チヨ(二つ)の二名都合五名を殺害し己は其の場で自殺を遂げたが、加害者正雄は惣藏の妹トキを妻に迎へたが、他に妾を置き家庭を省けるので妻トキは家出し歸宅しないので惣藏がトキを隱した者と思ひ込み數日前からトキを取戻す爲め惣藏方に來り談判したが、惣藏が曖昧の處から遂に逆上して有り合せた獵銃を以て前記五人を射殺したものである

哈爾賓に肉がない

運搬費の徴收に憤慨した揚句 肉屋が一齊不賣同盟

【ハルビン特電二十三日發】一時も肉が無くてはゐられないハルビンで屠殺肉類の運搬費が高く食つて行けないと市政局に三十餘名の肉屋が押掛け値下げせねば不賣同盟だと二十二日から一齊に戸を閉めて對抗した、市政局は牛一四二元、豚四十錢、羊七十錢を徴收したので運搬費をこれまで支拂はない肉屋が市政局の横暴に憤慨したゝめで、ロシア人は肉が食へぬので困り、料理店を閉めるものもあり肉屋連は奉天當局に本問題の解決方を請願した、駐奉中の張景惠が如何に裁くか注目されてゐる

政友小林氏の運動員取調

【岡崎二十三日發電】愛知縣第四區で當選した政友派小林錡氏は二十二日開票中岡崎檢事局に召喚取調べを受け一先づ歸宅を許されたが同派の運動員百餘名を引致し附近の寺院を借入れて取調べを行ひトラックにて順次檢事局に護送し名古屋よりも九名の檢事應援に出張し取調を行つて居る之がため小林氏の選擧事務所は大混雜を呈して居る

營業を停止

朝鮮料理店

市内逢坂町百十番地朝鮮料理店華山樓こと朴達守は昨年三月京城において張彩先(二八)を三百十五圓で抱へて來連、定年に至らぬのに強制的に客を取らしたこと發覺、更に抱妓七名の賞與を昨年十二月及び本年一月の二ケ月分を支給しなかつた違反行爲により大連署から二月廿三日より向ふ十日間營業停止を命ぜられた

税所中將廿年祭

故旅順要塞司令官陸軍中將税所篤文氏歿後滿二十年に當るので同司令部出身者にして在連の三十餘名を以て組織せる要司會の主催で來る廿五日午後五時より譚家屯光明臺產靈教本部において二十年祭を執行する事となつた

税所氏は皇道會長として大連神社創立の功勞者であるので神社側からも多數出席する事なれば定めて盛儀であらうと

教專生上海へ

教育專門學校では例年上海方面の視察旅行をなすが本年も日高教授に引率され教專學生三十名は廿三日出帆はるびん丸で上海に向つた

遊戲中の幼兒溺死

市内臺山町廿四大連機械製作所鐵工職工重家(三三)の長女鄰金玉(三つ)は附近の畑中にて遊戲中、深さ二尺餘の汚水溜に墜落溺死して居るのを家人が晝食に歸宅して發見、博愛病院石井醫師の應急手當を受けたが蘇生しなかつた

石田氏離連

經育安店長に榮轉の前三井大連支店長石田禮助氏は廿三日出帆はるびん丸にて一先内地に向つたが埠頭には津久井新任支店長初め露子夫人同伴、業界方面多數知名士の見送りがあり賑々しく出發した

艶色生膽秘譚（33）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

蘭川屋敷（五）

蘭川は眠り不足な眼を醒さうと椽に腰かけ、庭の朝みどりを眺め乍ら、香ほりもたかい薄紅の蘭茶をすゝつてゐた。

と門前に駕籠が止つたらしい氣配。

「誰かな？――三藏めをおどかすためにああは云つたが、實以て安心はならぬ」

昨夜も眠りが淺かつたはこの所爲であつた。

「御客仁で御座います」

小間使が手をついた。

「ほう？」

「御婦人で御座いますが、是非先生にお目通りいたしたいと仰有つて……」

「ふうむ、診斷かな？」

蘭川近頃、愈々もつて醫道とは緣遠くなつてゐた。

從つて、時たま病患者が訪れても事を稱へて斷るが慣らはしであつた。

「いえ、何かいりくんだ御用ありげでゐらつしやいます」

「では逢はう」

小間使が下ると蘭川は、殘りの蘭茶をグイッ飲み干し、また暫時はうつとり朝みどりの陽に映えたあざやかさをしみじみ見いつてゐたが、やがて立上ると書齋へ入つていつた。

挨拶もすまぬに蘭川、ヒヨイと膝に思ひあたつた。

「ははア、こやつ野ざらしお仙めだな」

痩しやかに裝ひつくしてはゐるものゝ、さてかくされぬはその眼のくばりかた、物腰であつた。

「御用のおもむきはそれがし承知いたしおりまする」

いきなり蘭川は先手を打つた。

生膽を眼前につきだされた上、百兩いたぶられるよりはと思つたからであつた。

が、お仙にして見ると、そんな端した金に眼をくれる譯はなかつた。

唯ひたすらに想いつめてゐる仇討船の浪人が左近であるか否かを確める事、しかも左近への紹介をたのむことが唯一の念願だつたのである。

で、默つてニツコリと微笑んだ。

「それが先生の御秘術蘭法の御診斷で御座いますか？」

さすがにお仙も負けてゐない。

「いかさまそなたが廣小路での手練同樣、お互の得手でござるよ」

蘭川も空うそぶく。

お仙はかるく聲さへ立てゝ笑つた。

「でも妾が先生を御たずねいたした心の底は御見破り叶ひますまい？」

「なツの！」

からは云つたが蘭川、此處で金のことは切り出せない。

さうなればこちらがヒケメになる。

「ではつきりと御診斷下さいまし」

お仙はわるびれてゐなかつた。

蘭川はお仙のまなざし、明るく澄んで美しくはあつたが、どこかに險をふくんできらめく處のあるそれがぶきみでならなかつた。

併し三藏が口を極めてほめたたえた如く、その艶艶さは嘗て覺えたことのない異樣な魅力となつてその身に迫つてくるのを感じた。

「蘭法の診斷にもいろいろござる時にそなたの場合は讀心術が何よりでござらう、それとも誘眠術かな」

「あの誘眠術と申しますは？」

「からうしてそれがしと對座して居ればすぐそなたが眠りを催すのぢや」

「え？」

さすがのお仙もこれにはギヨツとした。

「しかも眠りにおちたが最後心に秘めかくしてゐる本心を明かすのぢや」

お仙は一寸後退りはじめた。が蘭川の眼は妖しく光りはじめた。

「それ、それ、野ざらしお仙どのそれがしの眼を見られい」

蘭川はヂリヂリとお仙に迫つてゆく。

映畫と演藝

協和會館映畫

大連滿鐵社員倶樂部主催で明廿四日午後七時から協和會館に於て映畫會を催しパ社時作品「ニューヨークの波止場」及び日活時代劇「傘張劍法」を上映、會費は大人五十錢小人三十錢會員外八十錢であると

第十回滿日勝繼碁戰（高本氏二回勝三回目）

四子　高本二段　大畿　吉田義勇氏

イ　ロ　ハ　ニ　ホ　ヘ　ト　チ　リ　ヌ　ル　ヲ　ワ　カ　ヨ　タ　レ　ソ　ツ

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九

—【4】—

○六一ヲの七　○六五ヲの六　○六九ルの四　○七三への十七　○七七への十八

●六二ワの七　●六六ヨの七　●七〇ニの十四　●七四への十四　●七八への九

○六三ヲの五　○六七ヨの八　○七一への十二　○七五ニの十八　○七九ホの十二

●六四ワの五　●六八カの七　●七二への五　●七六への十七　●八〇ロの十三

▲清水二段講評　黒六十四は餘りに輕率（い）に粘ひて先手となるべき處六十六に於ても此場合（ろ、は）と覗ひで先手とならん黒七十二は單に七十八に詰めるか又隅を締るとせば右下隅（に）に締るを適切とせん右上隅には未だ敵の迫り居らざればなり黒七十四は（ほ）に頂け白（へ）なれば黒（に）と打ちて此隅を確保すべし

決死的冒險の白熊の生捕り

全編興味と亢奮に埋つた映畫「死の北極探險」

「ザンバ」や「チヤング」で示された實寫映畫の面白味がこの映畫でも亦遺憾なく興味が躍ってスクリーンに展開されてゐる。而も單なる實寫映畫でなく北極探險の貴重なる記錄である。從來の實寫映畫が殆ど南洋及びアフリカの熱帶地方に限られてゐたのが、この映畫で始めて氷雪皚々たる北極の神秘の扉が開かれ、この意味に於ても見遁せない映畫である。

全篇を通じて驚異と好奇の場面に埋まつてゐるが、特に興味を惹く場面は碎氷船を追ふ海豚の群、北進するに從つて變化する鳥類の棲息狀態、海豹島に於ける珍しい海豹の生活、次いで壯烈な捕鯨の實況から興味は渾しなくエスキモーが危險極まる氷上に活躍する海象狩と進んで愈々白熊生捕りのクライマツクスに達するのである。

カメラは開卷と共に實に巧に使用され特に望遠レンズの活用驅使に至つては驚歎すべきものがあるがこの白熊生捕の一卷に及んで實によく海を渡り氷上を走り氷下をくゞる一匹の白熊をカメラに捉へてゐる。追ひつめられた白熊は遂にザンバの如く猛然と探檢隊員を逆襲する刹那、投げ繩にかゝつて捕獲されるのであるが、この場面二三はトリツクを用ひない實寫映畫の面白味を發揮して餘す處がない

最後に至つては一九一三年に北極探險の犧牲となつて斃れたステファンソン氏一行の遭難現場のヘラルド島に於て先輩の遺品と遺骨を氷雪の間に發見して當時の遭難狀況を偲ぶところは惻々として胸を打つものがある。

この生きた北極探險の記錄はスクリーンに再生して計り知れぬ興味と亢奮と緊張に終始し撮影者シドニー・スノウ氏の功績は大きなものである。

◇◇傳奇刀葉林◇◇

帝キネ時代劇の革新第一回作品として映畫界の注目を集めた白刄亂舞篇で渡邊新太郎監督市川百々之助主演の十卷物【演藝館上映】

唉話

「死の北極探險」の試寫會で頗る愛嬌のある海象が▲海中に浮いたり沈んだりしてイナイイナイバーをして遊ぶので大笑ひ▲前週大日活で「大平兒」の出船の唄を解說者が合唱してお客を惱ましたので▲こちらだつて負けるものかと帝國館の宣傳部員と解說者が「鐵拳制裁」の合唱しようとレコードで目下猛練習中▲それでなくても嶮いのに愈々聽味噌が腐ると近所で大恐慌▲タカが國產トーキーだと「大尉の娘」を馬鹿にしてゐた連中が試寫を見て「本格的だあれならトーキーだ」と擴聲器にかけて放送▲ところで大日活では廿五日の三の午に初稻荷祭をやり廿四、五兩日だけ割引する▲右門捕物帳は東亞の三番手柄と日活の三番手柄がカチ合つたがどちらが手柄をするか

ラヂオ

大連（廿四日）自午前十一時相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）▲自午後〇時卅分相場（特產、錢鈔各地相場）ニユース▲自午後三時卅分相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニユース▲自午後七時（一）ニユース（二）語講座第三十課大連語學校グロースマン（三）源氏節鈴木主水彈語り原田しげ（四）三曲影尺八木村汲山、同辻泰正、三味線福永大勾當、同藤武中勾當箏低音木次初榮、同高音夏川としこ（五）長唄吉原雀快樂六榮會唄おこ、同千代次、同梅太郎、同八千代子、三味線哲千代、同すみ洪、同胡蝶、同駒榮小鼓樂次、同小文同久丸大鼓音丸（六）支那語密挨計連東倶樂部々員▲料理獻立▲天氣豫報

文藝

明日の演藝
小劇場運動の勃興に就て

志野羊吉

凡ての藝術の中で、古今東西を問はず、演劇ほど色々の意味に於て、民衆的傾向の濃厚であるものはない。

近代演劇は殊に民衆に接近掌握された——と云ふよりも寧ろ近代の民衆が、止むにやまれない心持の或る働きの一面から、演劇藝術へ突貫したと云ふべきではなからうか。

民衆は自分達の生活、或は少くとも自分達の心持の投影を舞臺に觀なければ胸が治らなくなつた。

ブルヂョア階級の人々より、よく現在の人間的惱みの深い民衆にとつて、演劇を單なる娛樂物と看做する以外に、漠然と或る光明が舞臺に投影してゐることを銳敏な彼等民衆は認識したのである。換言すれば、民衆は、舞臺上に、自分達の人生苦悶の心靈を、慰藉するに充分な魅惑的な魔力があることを發見したのである。と同時に涯もなく纖麗な「演劇的美感」に陶醉せむことを切望した。

こゝに於て、民衆の或る者達が最も賢明な運動方法を考へた。この運動が所謂「小劇場」とか「野外劇」とか「農民劇」となつて現はれた。かるが故に、小劇場運動は、その勃興の動機が、民衆の意志に依つてなされたのであるから金儲けを主眼にする資本主義的な貴族趣味的劇場に比較すればこの運動は「藝術至上主義的」と「民衆的」傾向のよき意味の革命である。

さて、吾等の大連にも、この小劇場運動の喊聲が昨今いちゞるしくあがつて來た。

大連小劇場、滿洲新劇團、嗜面座などの出現または甦生がそれである。

嗜面座に席を置く私が、今これらの團體について語ることは心苦しくも又許されないことである。がこれらの團體が、實際運動に入つて公開された曉は、私共と同じ團體の強に調立つ運動の健全な發展を顧る爲めにも、相共に語ることが多いだらうと思ふ。

とまれ小劇場は、演劇の微細な「研究室」であり「實驗室」である。しかし、それだけの意味とすると小劇場と云ふものは、餘りに貴族的なものに聽こえるし、またなつてしまふ。入場無料で公開するのなら文句はないが、さうでないかぎり、つひには經濟的關係から、また資本的制度へ逆轉推移しないとも限らない。こゝに小劇場の經營に幾多の六ケしい問題が起るのである。ことに滿洲に於ける小劇場運動の惱みは、一般民衆の演劇熱や、それに對する理解力を仔細に推察するとき、一層深刻におびやかされるものがある。

小劇場存立の第一條件は財源である。と同時に秀れた劇場指揮者である。次は？素質のよい觀客である。

觀客が洗練されて來ることは、よき演劇時代を創造する。これはきまり切つた理屈である。が、如何に入場料を安くしても如何に藝術味のある、しかも新鮮な演劇を提供しても、畢竟、觀客が劇場に來て見なければ問題にはならない。

大連に於ける小劇場運動の勃興は、演劇に理解を持つ民衆——「明日の演劇」を理解しやうとする民衆が多くなつた結果である。と結論されて良い。

吾等は遊惰なる一部階級の專有物の如く、玩弄された演劇を、或る程度まで奪還した所謂光輝ある「吾等の演劇」を、もつと／＼吾等の劇場である、未來的な小劇場の舞臺に演じるべく同志の絕大なる支持に俟つ者である。

大連に興つた小劇場の三派
その同人と事務所

滿洲に於ける演藝々術の向上と革新を目標とする小劇場運動が今春に入つて俄に擡頭し來り注目を集めてゐるが、既に先年組織された嗜面座及大連小劇場が內容を充實してその基礎を確立すると共に實際運動に着手しラヂオ放送、公演會等の準備に專念しつゝあり、また大連YMCAのグリー倶樂部を中心として田邊四郞、後藤計吉兩氏らが最近滿洲新劇場を設立し近く大連劇場に於て第一回公演會を催すべく計畫中で大連に於て三派鼎立の狀態を呈し其の競爭的刺激によつて滿洲に於ける小劇場運動は急速の進步を遂げるものと期待されてゐる。三派の事務所及び同人は左の如くである。

滿洲新劇場

▲總務部　田邊四郞
▲文藝部　大內隆夫　太上咲一
▲舞臺部　清水敬　傳城貢
▲メンバー　陶敬作、黑田賢、辻俊作、吉田辰巳、中溝新一、西卷透三、外五名、女子部鈴木芳江外三名
▲事務所　大連基督教青年會館內

大連小劇場

▲舞臺指揮　櫛木龜二郞
▲演出部　中川潤　里見凌洋
▲舞臺裝置　柳澤修　東堂百合
▲美術部　東宮百合

▲脚本部　下野好郞　郡上あきら　木島猖介　林田浩一郞
▲プロムター　東二三男　郡上あきら
▲總務部　田中いさを　郡上あきら　東二三男
▲記錄部　英純　木島猖介
▲會計係　英純　林田浩一郞　英純

嗜面座

▲事務所　大連市八幡町二六番地
▲總務部　永賀見太郞　怨珠兒
▲脚本部　横澤宏　靜田晴雄
▲演出部　志野羊吉
▲美術部　小泉梧郞
▲事務所　大連市吉野町三二番地横澤宏方

創作
マネキンガール

三木四郎

朝。高架電車が蛇のやうに濡れて走つた。廣場には「生活の流れ」が滲み始めた。

生命、青春、そして生活。Sの三位一體は、しかし此處では頑くなな沈默が拒む。改札口から吐き出される黑い流れは——人々は多服を着てゐたから——一つの葬列である。人々は疲れてゐた。一日の仕事を終へたやうに、朝から疲れてゐた。

篤子はその中で揉まれながら、ぼんやり想つた。お店の同僚、派手な貴夫人達。粗末な自分の着物に氣付いて、篤子は瞳を落した。

初子は姉の感情を敏感に讀んだ。美しい着物が、初子は思つた、お店で妾達を待つてゐるわ、そこに行きさへすれば！

篤子はM百貨店のマネキンガールだつた。

「そして今日からは妾も」初子は期待と新しい不安に、胸を躍らせて、姉の袂をかたく堅く握つた。

× × ×

夫々の衣裳を女達は受け取つた。無數の眼が探照燈のやうに煌く羨望、嫉妬、それから得意。その視線、その交錯。パッと咲き亂れた衣裳は、その焦點である。溜息が立昇つた。

「あの、妾」篤子はローブデコルテ風の華麗な薄物を展げて躊躇した「からだが……」

振向いた主任は、深い皺を眉間に刻んだ。そして篤子の腰を探つた。默つて和服と換へてくれた。

初子の割當ては少女向きのドレスだつた。

女達が持場に立つと、開店の鈴が響き渡つた。どつと群集が押寄せた。老婆が人造大理石の階段で轉んだ。貪慾な眼を輝かした地方人が突進した。素早く一番よい場所を「占領した」のは、頭を光らせた若い男だつた。學校をサボつた中學生が面皰顏を硝子窓に喰付けた。マネキンは忽ちの中に取卷かれた。

陽は高い。

貴夫人が取澄まして、しかし素早く衣裳と財布を商量して、階上に行つた。お伴の女中が羨まし氣にマネキンの顏を眺めて、あはてて女主人の後を追つた。

キネマの開場を待つ間を、大學生がその同伴者に囁いた。

「パリーのマネキンを、ミス・コレットがマネイヂしてたさうです」食堂を出た紳士が揚子を喰わへながらマネキンに微笑を送つたとまどひした亂髮の男が呟いた。

「婦人と小兒とは最もよき搾取材料である。そもそも百貨店に於ける經濟組織こそ」そして「資本論」分冊を小脇に抑へながら、ふらふらと、マネキンに引き寄せられた。支那人がこの人々の中を、滿足そうな顏で步き廻つた。

× × ×

最初の仕事に絹縦の、襞の多い眞白の衣裳を與へられた初子は、大喜びだつた。「まあ！妾はまるでウエンデイ・モイラ・アンヂエラ・ダーリングみたいだわ」姿見に映る素晴らしい自[illegible]は恍惚した。そしてその[illegible]でみた。するとそれがお[illegible]ンデレラ姫のやうに、思[illegible]

篤子はぼんやりと戀人の[illegible]つた。「あの人は、妾の[illegible]物は見ても、妾の情は見[illegible]かつた」そして今の篤子は[illegible]衣裳の肌觸りを娯んで居[illegible]しこの姿をあの人が見た[illegible]

篤子は一の事件を思ひ出[illegible]篤子と同じ仲間の一人が、[illegible]ンの衣裳のまゝで、晝休[illegible]逢つた、といふ事であ[illegible]はそんな勇氣はないわ。[illegible]賢いのね、こんな間違つた世の中では」そして努るやうに無邪氣な妹を眺めた。

× × ×

陽は未だ高かつた。

大時計の針は、なかなか廻らなかつた。觀衆は一層殖えた。硝子窓は、醱溫と人いきれで曇つてゐた。マネキン達は、額に汗を滲ませながら、重なり合つた無數の顔を見廻した。そして媚笑にかくれて少しづゝポーズを廻めた。男達はなんとはなしに、恍惚となつて、囁き合つた。そして充血した眼でマネキン達の肉體を汚した。

篤子は、裾を直しながら、妹を見た。

初子は、疲れた瞳を上げて、姉を見た。

閉店の鈴は、なかなか鳴りそうにもなかつた。

そして、この「生ける人形」達は、硝子箱の中でぐつたりしてゐた。それは裝飾用の汲つた金魚を思はせた。

ラヂオ露語講座

大連放送局二月廿四日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

ТРИДЦАТЫЙ УРОК.

Почтовая Контора.

Вход.	Выход.
Посторонним вход воспрещается.	Курить воспремается.
Прием заказнои корреспонденции.	Прием телеграмм.
Прием денежных переводов	Выдача денежных переводов.
Прием посылок.	Выдача посылок.
Выдача писем до востребования.	Продажа почтовых марок.

Разговор.

А.—Скажите пожалуйста, где здесь помещается почтовая контора.
Б.—Почтовая контора помещается на углу Нихон баси и Аояма улице.
А.—Это далеко отсыда.
Б.—Нет, не так далеко.
А.—А куда пройти туда. (А как пройти на ту улицу).
Б.—Идите прямо, возьмите первую улицу направо и идите прямо три квартала. Там вы увидите больмой пяти-этажный дом. Это и будет почтово-телеграфная контора.
А.—Очень Вам благодарен.

第三十課

郵便局

入口	出口
局外ノ者入ルベカラズ。	禁煙
書留郵便取扱所。	電信取扱所。
爲替取扱所。	爲替支拂所。
小包取扱所。	小包渡場。
局留郵便渡場。	郵便切手販賣所。

會話

A.—何ウゾ言ツテ下サイ，此處ハ何處ニ郵便局ガアリマスカ？
Б.—郵便局ハ日本橋ト大山通リノ角ニ在リマス。
A.—ソレハ此處カラ遠イデスカ？
Б.—イヽエ，ソンナニ遠クアリマセン。
A.—其處ニハ何ウ行キマスカ？　（其ノ町ニハ何ウ行キマスカ？）
Б.—マツ直グニオイデニナツテ最初ノ町ヲ右ニオトリニナツテマツ直グニ3區オイデ下サイ、其處ニ貴方ハ大キイ五階ノ家ヲ御覽ニナリマス、ソレガ即チ郵便電信局デス。
A.—大キニ有難ウゴザイマシタ。

映畫展望臺
國產トーキー雜觀
大日活「大尉の娘」を見て

靜田晴雄

大連で最初に上映されたトーキー、フオツクスのムービートーンを協和會館で見てから、最近のミナ、トーキー「大尉の娘」までいくつかのトーキーを見、且つ聞いてゐる。其の內大連に於て上映された、及び上映されんとする國產トーキーの見聞感想記を書き綴つて見たいと思ふ。

最初に上映された國產トーキーはマキノの「戻り橋」であつたが全くの所エロキユーションを生命とする發聲藝術としての價値は全く零で、セリフは殆ど解らなかつた。其の爲め所々意味の解る所はあつても內容的面白味を覺える事は全く不可能であつた。勿論最初の國產トーキーたる「戻り橋」に對して期待しては居なかつたが、好奇的滿足をさへ得る事が出來なかつた事を殘念に思つて居た。

其の後外國トーキーが大日活に於てドシ／＼上映され、國產トーキーはしばらく中絕して居たが、最近、外國トーキーによつて漸く本格的になつて來た吾々のトーキー眼の前に現はれたのが、同じくマキノの「俠艷錄」であつた。「俠艷錄」は所謂パート、トーキーの一種と稱す可きものかも知れない。しかし其のシンクロナイズの不完全さに於て不滿は續いた。殊に最後の子守歌に至つては、サイレント、ピクチユアー「俠艷錄」又は戲曲「俠艷錄」として持つ大きな力を絕對的に弱くしたものと云へる。兎も角もトーキーとしてたとへ興味的にしろ本腰になつて論じ得る作品ではなかつた。

次いで見たのは松竹の小林式トーキーと稱する長二郞主演の「玄冶店」であつたが、此れは嚴正なる意味から見て、發聲映畫とは云へぬ。たゞ映畫「玄冶店」とレコード「玄冶店」を連結した、レコード式音響映畫の一種である。しかもそれが非常に邪道的なものであつたが故に、素人眼をゴマカシ得る事は出來たのであつたが、識者にキネトホン以上の價値を認めさす事は出來なかつた。

最後に本月廿一日にミナトーキー「大尉の娘」の試寫を大日活に於て見たが、今まで大連に上映された國產トーキーがすべてディスク式であつたのに反して、此れはフイルム式であつた。私は此の「大尉の娘」について稍詳しく述べる必要を感じる。何となれば、其の意味に於て、國產トーキーとして最初の本格的なものであり、或る程度まで國產トーキーの將來を暗示して居るかの如く思はれるからである。

「大尉の娘」はトーキーとして前述した三者より遙かに完成されたものであり、むしろ外國トーキーと比較し得る程の價値を持つて居る。勿論米國トーキーが既に獲得して居る形式的可能性を素質する時は遙かに及ぶべくもないが、白と黑と音との綜合藝術として其の發聲技術の點に於てはさほどの遜色を感じない。擬音はあまり多くは入つて居なかつたがしかしそれが、殆ど不自然さを感じさせない點等外國物と其の優劣を論じがたい程であつた。唯々雜音が相當入つて居る事と、舞臺的效果に重點を置き過ぎた事は非常な失敗と云はねばなるまい。殘る所は唯舞臺的效果を重要視せぬ事にある、其の原因としては經濟的原因も存しやうし、表現能力に對する知識の不充分にも存しやうが、ともかくも舞臺藝術より進化した映畫藝術が又舞臺藝術に還元する事はトーキーを舞臺劇の模倣と云ふ小さな檻に入れるものである。むしろトーキーの發生を因緣として映畫的に第二段の世界に入るやうに努めたなればミナトーキーの成功を囑目する事が出來やう。

「大尉の娘」を見て、やがて光と影と音との交錯の輝かしい國產トーキーが出現するであらうと思はせられたのである。

滿洲日報

社説

民政黨に要望　勝利に善處せよ

明るき政治、公明なる政治をモットーとする濱口内閣の下に行はれた第二次普選政戰は、民政二七四、政友一七三、無産五、國同六、革新三、中立五といふ結果を收めこゝに全く終局を告げた。

◇

斯く政府與黨は壓倒的の過半數を占めて大勝し、之で政局も、まづ安定したものといへる。吾人は今日の場合、何よりも政局の安定を希望する。主義政策の善惡よりも、ある場合には寧ろ政局の安定を以て國家の幸福と做なさねばならぬことがある。

◇

金解禁後の今日においては、その善後に處すべく緊縮節約の方針を以て國策を一貫せんことを希望する。中間景氣は禁物である。よしそれが人氣を呼ぶ好景氣であるにしても、今日の場合、金棒で石橋を叩きつゝ、堅實なる進みを必要とする。

◇

それには幸ひ、國民總意の反映として、政府與黨が大勝を博したのであるから、その大勝に慢心することなく、壓倒的の過半數を占めたる責任の重大なることを感銘し、自重堅忍の態度を以て國政に膺つて貰はねばならぬ。過般の總選擧に當り、天下に宣明したるところの八大政綱を實行するの意氣と誠意とを示すことにおいてのみ國民の信頼に酬い得るものといふべきである。多數黨の勢力のみを過信し、その責任と使命とを忘却するが如きは、民政黨のためにも良い結果はないと思ふ。

◇

民政黨内閣としては、内治外交において、善處せねばならぬところの多くの仕事を持つてゐる。まづ當面の問題としてはロンドン會議がある。この問題表面は兎にかく、若槻主席全權を推擧した濱口内閣としては、世界平和のため、また國民負擔の輕減のため、最大の努力をなさねばならぬのである。また對支條約改訂問題の如き、日支の共存共榮上これが解決に最善の努力を惜んではならぬ筈である。内政問題としては、何といふても金解禁後の財政金融問題に善處し一般國民の社會的、經濟的生活を安定することが肝要である。

◇

かくの如く絶對多數黨の責任と使命とを考察したるときは、さすがの民政黨も大勝の甘酒に陶醉して空名を謳歌するのみにては相濟まぬ。國民は濱口首相の人格と民政黨の主義政綱に對して、更に角大にやらして見やうといふことになつてゐる。その緊縮節約の國策を實行發揮せしめやうとしてゐるたゞ徒らに勝ち誇つて、この國民の信頼を裏切るやうなことがあつてはならぬ。

◇

今日絶對多數黨となつた政府黨も少數黨であつた時代を忘るゝことなく、例の濱口式の堅實主義を以てコツ〳〵とヒタ押しに押し進まんことを要望する。多數黨の空名に醉ふてはならぬ。まして多數を恃み横暴を敢てするが如きは大の禁物である。吾人は勝つて兜の緒を緊める以上に、民政黨が多數黨としての自重自制、勝利に善處せんことを望むや切である。

總選擧の各派得票數

民政黨　五六一一二三四票
政友會　三八六七一七七票
無産増し小會派減る

【東京廿三日發電】第二次普選の總決算は寧ろ國民の期待以上に民政黨の壓倒的勝利となつて同黨の二百七十四名獲得に對し政友會は百七十三名と

悲慘なる

逆襲的結果を招くに至つた茲に民、政兩黨を支持した國民總投票を計算するに民政黨五百六十一萬千二百卅四票、政友會三百八十六萬七千百七十七票で、民政黨は前回の四百廿六萬二千五百八十票に比し百三十四萬八千六百五十四票の増加、政友會は前回の四百二十六萬百五十九票に比し三十九萬二千九百八十二票の激減となつた、尚中立への總投票數は廿四萬七百五票で前回の五十九萬千八百十四票に比し三十五萬千百九票の激減を示して其の凋落を示した、一方

對立抗爭

のため僅に五名を選出した無産派への總投票數は五十萬四千二百四十三票で前回の四十七萬千百三十一票に比し三千百十二票の増加となつて居る、其の他革新、國同等小會派も總計十九萬五千二百九十四票で前回の廿七萬五千七十二票に比し七萬九千七百八十八票の減少である、尚各派個人當り得票數比較左の如し

△民政黨　一萬五千八百六十三票
△政友會　一萬二千八百四十九票
△無産黨　四千九百十十五票
△小會派　一萬二百七十八票
△中立　五千三百四十九票

（鹿兒島縣第三區の投票數を除く）

民政黨の當選率は七割八分八厘強
無産各派は一割にも達せぬ慘めさ
議員は無職が一番多い

【東京廿三日發電】總選擧の結果各派勢力左の如し

民政黨二百七十四名、政友會百七十三名、中立五名、革新三名、國同六名、社民二名、大衆二名、勞農一名、合計四百六十六名

新しい議員の職業調べは

無職八十八名、會社員八十三名、辯護士七十九名、農業四十六名、官吏三十六名、新聞通信雜誌關係十九名、著述業十七名、醫師十三名、醸造業十一名、商業九名、請負業五名、漁業四名、銀行員四名、出版業四名、貿易商三名、退役軍人三名、織物業、林業、地主、學校長、教授、講師各二名、僧侶、飛行機製作業、海運業、製糸業、製肥業、公吏、鑛業、勞働組合事業各一名

尚各黨派當選率左の如し

民政黨七割八分八厘強、政友會五割六分八厘強、國民同志會五割、革新倶樂部五割、社民六分七厘、大衆九分一厘、勞農七分七厘

新代議士は百二十六名
前代議士が二百八十一名
元代議士が五十九名

【東京廿三日發電】新議員四百六十六名中前代議士は二百八十一名元代議士五十九名で新顔は百廿六名となつて居る、各派代議士新舊別表左の如し

△民政黨　元代議士三十七、前代議士百五十七、新顔十七、計二百七十四名
△政友會　元代議士十九、前代議士百廿四、新顔三十、計百七十三名
△革新　元代議士一、前代議士二、計三名
△國同　元代議士一、前代議士一、新顔四、計六名
△中立　元代議士一、前代議士二、新顔二名、計五名
△社民　前代議士一、新顔一、計二名
△大衆　前代議士一、新顔一、計二名
△勞農　新顔一、計一名

合計元代議士五十九名前代議士二百八十一名、新顔百廿六名計四百六十六名

大阪檢事局　違反檢擧

【大阪二十三日發電】選擧開票の終了を待つて大阪地方檢事局では果然疾風迅雷的活動を開始し二十二日早くも府警察部と協力普選の裏に躍る醜い影の摘發に着手した、大阪五區より立ち不幸落選の憂目に遭つた高松正道（國同）派の運動員の違反も亦發覺し既に四名起訴された

は同區より當選した喜多孝治氏の選擧違反は嚴に取調中であつたが、買收のためにばら撒かれた金額は數萬圓に上る見込みで同氏の選擧事務長山内丑松氏は二十三日朝遂に留置され同派の違反事件で收容された者既に十六名に達した

總選擧の經過を上奏
濱口首相より

【東京廿二日發電】濱口首相は當選者確定を待つて廿三日中に葉山御用邸に伺候し、天機並に御機嫌を奉仕したる後總選擧の經過を上奏する事となつた

府縣別の各派當選者數
本社調査

地方	府縣	定員	民政	政友	社民	大衆	勞農	全民	地方無	國同	革新	中立
關東	東京	(31)	17	10	0	1	1	0	0	0	1	1
關東	神奈川	(11)	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0
關東	埼玉	(11)	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	千葉	(11)	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	茨城	(11)	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	山梨	(5)	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	群馬	(9)	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	栃木	(9)	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	北海道	(20)	11	8	0	0	0	0	0	0	0	1
東北	青森	(6)	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	秋田	(7)	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	山形	(8)	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	岩手	(7)	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	宮城	(8)	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	福島	(11)	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0
北信	長野	(13)	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0
北信	新潟	(15)	9	5	0	0	0	0	0	0	1	0
北信	富山	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
北信	石川	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
北信	福井	(5)	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
東海	靜岡	(13)	7	4	0	0	0	0	0	1	0	1
東海	愛知	(17)	11	6	0	0	0	0	0	0	0	0
東海	三重	(9)	6	2	0	0	0	0	0	0	0	1
東海	岐阜	(9)	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	大阪	(21)	14	4	1	0	0	0	0	2	0	0
近畿	京都	(11)	7	3	0	0	0	0	0	1	0	0
近畿	滋賀	(5)	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0
近畿	奈良	(5)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	和歌山	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	兵庫	(19)	10	6	0	0	0	0	0	1	1	1
中國	岡山	(10)	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0
中國	廣島	(13)	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0
中國	山口	(9)	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0
中國	鳥取	(4)	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
中國	島根	(6)	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
四國	香川	(6)	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
四國	愛媛	(9)	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0
四國	徳島	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
四國	高知	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	福岡	(18)	10	7	0	1	0	0	0	0	0	0
九州	熊本	(10)	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	佐賀	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	長崎	(9)	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	大分	(7)	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	宮崎	(5)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	鹿兒島	(12)	2	5	—	—	—	—	—	—	—	—
九州	沖繩	(5)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		(466)	274	173	2	2	1	0	0	6	3	5

三十四歳から七十六歳まで
新議員の年齡調べ

【東京廿三日發電】新議員年齡調べ

▲三十歳乃至三十九歳二十一名▲四十歳乃至四十九歳百六十一名▲五十歳乃至五十九歳百六十九名▲六十歳乃至六十九歳は百四名▲七十歳以上八名

で最年長者犬養毅氏七十六歳、最年少者坂本一角、淺原健三兩氏の三十四歳である

猪野毛氏の選擧違反か
實弟拘引さる

【福井廿三日發電】福井檢事局は廿三日日曜にもかかはらず早朝より活動を開始し午後零時半頃猪野毛利榮氏の實弟福井市會議員久保濟氏の家宅捜索を行ひ氏を拘引した、猪野毛氏の選擧違反事件に關する如く取調の進行に連れ事件は益々發展の模樣である

新議長
藤澤氏選出確實

【東京特電二十三日發】民政絶對過半數を示した結果衆議院議長は元商相藤澤幾之輔氏恐らく選出さ

參與官後任問題
次官級の人物を据ゑん
廿五日閣議で銓衡

【東京廿三日發電】落選した内ケ崎作三郎、岩切重雄兩參與官は先例にならつて辭意を表明してゐるが政府は廿五日閣議で之を承認する模樣である、後任については選擧早々の事とて何等具體的銓衡が行はれて居ないが其地位が要職である關係上次官級の人物を据える模樣である

嵐の如き祝辭をうけ
首相語る

【東京廿三日發電】濱口首相は廿三日午後久し振りに民政黨本部に顏を出して大勝に與黨員から嵐の如き祝辭を受けたが、左の如く語つた

小選擧區制は絶對多數の獲得に不可能だとは良く人の言ふ處だが今度の選擧の結果其のしからざる所以を確信し得た

片野氏參謀等取調

【秋田廿三日發電】秋田縣第二區から當選した政友會の片野修氏の參謀縣會議員村上清治氏は投票買收の嫌疑で取調べを受けたが事件は更に波及し擴大の模樣で既に數十名拘引さる

政府黨の勝利に滿足
米國民間で

【ワシントン廿二日發電】米官邊は日本の總選擧結果の批評を避けて居るが、民間消息通は政府黨の勝利は日本の軍縮會議及び經濟政策、對支政策の不變を意味し甚だ結構

鹿兒島第三區當選者

【東京廿三日發】鹿兒島縣第三區當選者左の如し

一四四一五　久留　義郷（民元）
一〇八九四　津崎　尙武（政前）
九七六四　永田　良吉（政前）

次點七七二二山元龜次郎（社新）落選前田倍、藤清二、英義彥

軍縮會議の滿足な結果を得るは困難
各國新聞記者を別邸に招いて
英首相歎聲を漏らす

【ロンドン廿二日發電】マツク首相は本日各國新聞記者をチエッカース別邸の茶會に招待し漫談を交はした、首相はフランス内閣の不安、英佛日米其他會議の前途難關多々ある點等により歷史的滿足な結果を得るのはなかなか困難だとつくづく歎聲を洩らし失望の色が

ジョンズ少將病氣で歸米
ありくとうかがはれた

【ロンドン廿二日發電】ロンドン軍縮會議の米國海軍顧問ジョンズ少將は胃潰瘍を患ひ醫師の勸告により廿六日ベレンガイヤ號で療養のため歸國する豫定である

飛行機搭載艦の定義に就て協議
略々意見は一致した

【ロンドン廿二日發電】軍縮會議專門委員會は午前十時半開會水上飛行機搭載艦の定義につき意見を交換し、速力二十ノット以上は戰鬪用として制限艦種中に入れ小型艦は制限外とするに略意見の一致を見た、只大型艦を航空母艦とするか巡洋艦とするかの點は未定なる儘正午散會尙水雷布設艦は日本側の主張が容れられ代艦三隻の建造を認める事に大體の決定を見た

露支會議前途樂觀
支那との復交に期待をかけて
勞農側が重大視す

【ハルビン特電二十三日發】露支正式會議に對する當地有力者の意見を綜合するに、ソウエート聯邦一時無條件放棄を聲明した東鐵を依然として實質的に回復してゐる

これ以上

の利益を支那から回復するの必要を認めてをらぬだらう、一九一九、二〇の兩年カラハン氏が宣言した當時のソウエートとして今回の時局により要求を回復したことがより有力となつて來た點に鑑みて、之からは「如何に支那をしてロシヤに好感を持たしめるべきか」又「如何にして支那を勞農主義に誘導するべきか」が問題である、だからモスクワ正式會議の前途に對しては英、佛、其他の列國と國交を回復した以上のより徹底的な態度をもつて

支那全權

を迎へんとするの準備あるは想見するに足るであらう、シマノフスキー全權が哈府に去る前日蔡運升氏の惜別宴に列した席上ロシヤの對支態度を說き「世界平和のためには露支兩國の聯盟を必要とする」旨を述べたと傳へられるが、若それが眞實とすればソウエート聯邦は露支國交回復に如何にモスクワ會議を期待してゐるかが判り、シ氏の言は確に一片の外交辭令でないことが窺はれるであらう、從つて露支兩國共にモスクワの正式會議の前途を樂觀し支那政府はこれによつて對外的の

局面轉換

策に利用せんとする態度に出るであらう、但し露支兩國の接近によつて支那の社會に如何なる變動を招來するやは逆睹を許さず、この點は浙江閥を背景として立つ蔣介石其他舊軍閥の苦慮する處である

解散を奏請した理由を全部解決
公約せる政策の遂行に精進せん
濱口首相の聲明書

【東京廿三日發電】濱口首相は今次總選擧の結果に關し二十三日左の如く聲明した

現内閣は成立以來常に強く正しく明るき政治を高唱し時局に善處して君國に盡さん事を期して居る、今回の總選擧に際しても特に政界の廓清に重きを置き

自由公正なる

選擧權の行使により國民の眞の意思の有する處を議會に反映せしむる事に努めたるは天下の等しく認むる處と信ずる、選擧の結果は只今迄内務省の調査したる處によれば政友會の百七十四名に對し民政黨は二百七十三名を獲得し其の差は九十九名の多きに達して衆議院で議員の半數たる二百三十三名を突破する事まさに四十名であつて政局は茲に全く安定を得たりと言ふべきである、從つて曩に現内閣が解散を奏請したる理由の全部を解決し得たる點に於いて自分は一先づ重荷を下ろした感がある、之れ全く現内閣の主義政策が徹底的に國民の諒解と共鳴を得たるものであつて此の選擧に當つて

朝野二大政黨

は正々堂々此の主義政策を國民の前に披瀝し其の公正なる判斷を求めた結果茲に到達したのである、吾々は今更輿論の力が偉大なるを痛感する、夫れについても二回の總選擧について欣ぶべき現象は第一に國民が二大政黨の對立を是認し主義政策の明瞭ならざる中立議員の選出に興味をもたなかつた點である、第二に中選擧區制の下に於いても一政黨に對して斷然壓倒的勝利を贏ち得る事が立證された事である、茲に

總選擧の戰蹟

をかへり見て現内閣は勝つと驕らず能く内部を統制して愈々益々眞面目な態度を持し、思ふ存分の政策を遂行して憲政の發達に寄與し國運の進展に貢獻したいと思ふのである

感ぜざるを得ない、改めて申すまでもなく政府は今日以後の使命は昨年七月組閣直後中外に聲明したる十六政綱に基づき政策の遂行に精進する事であつて吾々

森幹事長から反駁的の聲明
自由公正な選擧權の行使とは强辯だと

【東京廿三日發電】濱口首相の聲明に對抗し森政友會幹事長は左の如く反駁的聲明を行つた

濱口首相はかつて大隈内閣のなせると同一手段で絶對多數を獲得したるにかゝはらず、自由公正な選擧權の行使の結果など言ふは强辯である、十七、八、九の三日間一齊に野黨候補者及び運動員の自由を拘束し、他面官權擁護の下に買收を行はしめた事實があり司法權の裁きを待つて居る狀態を如何に糊塗せんとするのであるか

政府のあらを探して公表
政友會數圍く

【東京二十三日發電】今次の總選擧に政府の大勝した裏には各地方を通じて頗る巧妙な干渉と壓迫が行はれたと各地政友會候補者より本部にうつたへて來て居るが、政友會は直ちに全國支部に對し政府側の選擧戰術を精細に調査の上報告すべき事を求める筈で、調査完了次第政府の奸手段を天下に公表し更に相當の手段を講ずる方針であると云つてゐる

朝鮮運合會社創立準備を急ぐ
現金出資と重役が難關

朝鮮運送合同會社創立準備については各擔任委員は晝夜兼行調査を進めてゐるが、最も難問題とも云ふべき各驛業績査定に對する査定承諾書も案外順調に纏まり既に參加者數も決定したので、殘る問題は會社設立の方法に對する二者即ち現金出資と重役問題で之れが解決については各方面から非常な注意を惹いてゐるが、現金出資については既に國運、國通兩社間にありて略安協すみで確定的のものと見られてゐるも、同社設立と共に將來最も重要問題とする會社業務を統轄すべき役員の數及び其割當については相當考慮を要するのである、若し相互に權利を主張し役員の割當が其の當を得なかつた場合は折角數年間に亙つて積みあげた會社設立の目的を達し難いのみでなく、設立後の會社内部の統一を缺き延いては業績のあがらざる結果は折角事業財産を提供した株主に多大の迷惑損害をかけることになる譯であるから、各委員元より鐵道當局にあつても目下愼重に研究中であると（京城特信）

在滿外人の金融機關調査

【吉林特電二十三日發】探聞する所に依れば吉林省政府は最近國民政府より外人の金融狀況調査報告方訓令に接した其大意は次の如くであると

中國年來の金融は既に外人に操縱せらるゝ所である、殊に東北省は外人の勢力絶大である上に又近來金票價格俄かに騰貴し國幣を超過すること數割、之が我國の金融上に多大の影響を與ふるものなり、本政府は對策を講ずる上に必要なるに付き當該各省に於ける外人金融機關並に其の發行紙幣數等調査報告せらるべし

歐亞連絡會議

【ハルビン特電二十三日發】歐亞直通聯絡旅客會議は四月十八日から開催されるが五月十六日からはモスクワに於て貨物會議が開かれ東支鐵道から貨物關係の露支代表が出席參加する由

滿洲栗の朝鮮輸出增加

【京城特電二十三日發】二月中旬に於ける滿洲栗の安東經由朝鮮内輸入は二百四車六千百二十噸で前年同旬に比して三千五百四十噸の増加であるが右は前年同旬は恰も舊正月休みであつたので特に本旬は順調な入荷を見た譯である尙十一月以降の累計は四萬八千七百八十噸で前年に比し約三百噸の増加を見た本年は滿洲方面一般豐作の上銀相場安の關係上今後尙輸入増加の見込である

安樂椅子

二十二日豐鄕法院辯護士室では今度の選擧のことで各自贔負々々の意見や雜談で賑はつてゐた▲竹田辯護士憤然として「河上肇が落選したのは全く痛快なことだが大山郁夫が當選したことは實に怪しからぬ話だ、あんな國體と相容れぬ樣な思想を宣傳する奴は殺して了へ」と大いにいきり立つてゐると▲他の一人が「ちや人を殺すことは國體に容れるんですか」で一寸考へたが「なに、殺して自殺して了へば良い」と意氣昂然▲尙先日福岡縣で選擧演說中白刃を振り廻した暴漢に襲はれた大衆黨の淺原候補が狹小舍に隱れて難を免れた話が出て、竹田君「狹俵の間に隱れてる奴を槍でブスリとやつつけたら痛快だつたらうになあ」

本日廳報を添ふ

滿洲關係の當選者は合計十九名に上る
こゝだけは政友が絶對多數
その現業と履歷

【東京特電二十三日發】政府の壓倒的勝利、在野黨の慘敗を示した第二次普選後の議會に新議席を占める滿洲關係の代議士は合計十九名で、其內譯は政友十二、民政六、中立一となり滿洲關係のみ見れば政友會が壓倒的多數を示してゐるのも面白い、又その內全くの新顏は松岡、北田兩氏で他は元三名、前十四名である、新代議士の現業、學歷、職歷、當選回數年齡など左の如し

櫻內辰郎（東京一區民）五品理事長その他四社重役、早大卒業、東海ラミー、第二東海ラミー紡績社長、東海發動機專務、當選二回、年齡四十五歲

北田正平（千葉三區民）辯護士、京大卒業、元山東鐵道營業課長、年齡五十歲

永田善三郎（靜岡三區民）

一宮房次郎（大分一區民）會社員、早大卒業、關東報社長當選三回、年齡六十四歲

森峯一（佐賀二區民）無職、東亞同文書院卒業、元盛京時報社長、大朝記者、當選四回、年齡四十七歲

降旗元太郎（長野四區民）製糖會社長、麻布中學卒業、奉天森鑛業所主、當選二四、年齡四十八歲

山本条太郎（福井政）

胎中楠右衞門（神奈川三區政）新聞社長、早大卒業、元陸海鐵各省政務次官、當選九回、年齡六十七歲

山崎猛（茨城二區政）會社重役、漢學塾修、元滿日重役、當選二回、年齡五十五歲

森恪（栃木一區政）無職、一高修業、元水戶市長、前滿日社長、當選三回、年齡四十五歲

兼田秀雄（青森二區政）政友幹事長、會社員、元搭連炭坑關係、前外務政務次官、當選五回、年齡四十八歲

門田新松（山形二區政）無職、早大卒業、元東朝記者、元滿鐵總裁秘書、當選二回、年齡五十一歲

小泉策太郎（靜岡二區中）印刷會社長、慶大卒業、元五品理事長、當選三回、年齡五十五歲

會社重役、政友顧問、前滿鐵總裁、當選四回、年齡六十四歲

松岡洋右（山口二區政）無職、元五品理事長、當選七回年齡五十九歲

兒玉右二（山口二區政）無職、オレゴン大學卒、前滿鐵副總裁、年齡五十一歲

野田俊作（福岡三區政）著述業、東大出身、前哈日社長當選四回、年齡五十八歲

松野鶴平（熊本一區政）無職、東大卒業、元滿鐵庶務課長、當選三回、年齡四十三歲

中山貞雄（熊本二區政）電通重役、元五品重役、當選三回、年齡四十八歲

淸瀨規矩雄（大分二區政）會社重役、元東亞證券重役、當選三回、年齡四十三歲

農相秘書、當選二回、年齡五十三歲　豐國生命重役、元滿鐵總裁秘書

遼海丸に備へる機關銃

奉天醫大つひに最後の勝利を占む
大連一中惜くも敗る
全滿柔道無段者團體の爭覇戰

大連講道館主催の第八回全滿洲無段者團體優勝旗爭覇戰は夕刊既報の如く廿三日大連滿鐵道場に於て午後も引續き擧行されたが、觀衆も續々來場し物凄き鑑援裡に鐵腕うなり、取り分け準決勝戰に於ける大連二中と若葉チームとの試合は見るものをして手に汗を握らしめたが

鬪將田中の負傷で惡コンデションにおかれた若葉は遂に二中に名をなさしむ、午後五時三十分愈々優勝戰が開始され兩軍とも此處を先途と戰つたが遂に得點ならず、兩軍大將再び出で〻戰ひ遂に遠來の醫大に凱歌揚がる、右終つて伊佐副會長の手から優勝旗優勝盃賞品等醫大チームに各個人優勝者にそれぞれ賞品を授與され午後六時五分盛會裡に終了した、戰績左の如くである

▲二回戰

二中　一―〇　遼陽
西部警察　一―一　憲兵隊
醫大A　一―〇　大石橋
工事A　三―一　大商B
西部警察　四―一　鞍山
奉天警察　二―〇　育成

撫順對奉天は技倆伯仲して決せず協議の結果奉天の勝

▲第三回戰（〇印勝）

醫大A組　二―一　工事
苅部　引分け　中村
古野〇崩横四方　龍
山下　引分け　則武
山中　引分け　河野
都甲　右跳腰〇高瀨

古野〇崩上四方高瀨

▲大連二中四―〇大連西部警察

市丸〇背負投げ　池司
横田　引分け　庄島
御幡〇背負投げ手東
田村〇崩上四方
池尻〇　腕逆　岩崎
若葉二―一奉天追場
谷井〇袈裟固め前澤
濱田　引分け　太田
松岡〇抱き上げ矢嶋
田中（番）內股〇山田
田中　上四方　河村

▲大連警西一組二―一奉天警
賀門　引分け　奧田
小山　引分け　本鄉
大木　小外刈〇増田
佐藤〇上四方　加藤
矢口　引分け　原口
佐藤〇崩橫四方奧田
佐藤寢業を以て攻め奧田よく之を防いだが成らず惜敗す

▲準決勝戰（審判大木範士）

△大二中一組一―〇若葉
市丸　引分け　谷井
御幡　引分け　濱田
濱田御幡ともよく戰ひしも遂に成らず
橫田〇內股　松岡
兩軍の鬪將見るものをして手に汗を握らしたが橫田第一呼鈴後見事な內股で敵鬪將を倒す
田村　引分け　田中
田村大いに頑張り第二呼鈴前田中をしめ上げて居たが第二呼鈴なりうらみをのむ
池尻　引分け　田中

（評）松岡は寢業を得意とし橫田は跳腰一本の選手である、松岡が徹底的に寢業で攻め立てたならば一層好試合と思はれる、又育成の田中は立業で攻めたて得たならば勝敗は逆睹し難かつたであらう

▲準決勝戰（審判山田氏）

△大警西〇―二醫大
大木　引分け　苅野
小山　內刈〇古野
古野業有り後內刈で先づ一點を得
矢口　引分け　都甲
佐藤　引分け　山下
賀門　大外刈〇山中

▲決勝戰（審判岡部氏）

△醫大一―〇二中
山下　引分け　橫田
山下二中の大將橫田の不得意の寢業で攻め立て遂々引分けとなる
古野　引分け　田村
古野內股で業有りをとり田村しばしは業をかけしも古野のウエイト重きためかゝらず引分けとなる
都甲　引分け　市丸
市丸終始攻勢に出で攻め立てたが都甲ねばり遂に亦引き分けとなる
苅部　池尻
相方とも秘術をつくしたが成らず兩軍とも得點なく終る
山中　引分け　御幡
立ち上つて約二分後御幡跳腰で業有りを得後第一呼鈴後奮然敵を攻め立てたが成らず兩軍とも無得點で終り觀衆益々熱叫す
古野　小內左內刈　橫田
兩軍とも大將を出して覇を爭ふ二分も出でずして橫田左跳腰とかけしもならず二分半頃古野左內刈で極める

（評）優勝戰のため兩軍とも堅くなり過ぎた憾あり御幡の奮戰等あつたが遂に

長蛇を逸した、戰終つて、小谷五段より近來稀な好試合があつて私共でも手に汗を握つた、始めて州外に優勝旗をもつて行くのだから醫大の面目思ふべしだ、優勝戰の醫大對二中は實力に於て二中が優つて居ると思ふが作戰が間違つて居た樣に考へる、橫田の起用場所をもう少し考へたなら二中の覇業も容易な事だつたらう、一般に於て勝負に拘泥し過ぎてきたなくなつた憾みがある、もう少し正々堂々と戰ふ事を望むと講評があつた

天狗俱樂部凱歌をあぐ
大接戰に觀衆熱狂す
體育卓球大會の盛況

體育主催本社後援の第五回體育卓球大會は夕刊既報の如く二十三日午後引續いて常盤小學校に於いて續々擧行、折柄の小雨をついて續々觀衆は集り白熱化し午後八時盛會裡に終了した、午後よりの戰績左の如し

▲一勝者戰

豆信　五―〇　南部棄權

▲二勝者戰

大連商業　五―〇　電鐵B
用度A　五―〇　霞
數島　五―〇　南山
消費組合　五―一　コメット
用度B　五―二　滿試
中央試驗　五―一　豆信

▲三勝者戰

滿鐵本社　五―四　獨立
天狗　五―二　消費組合
數島　五―一　大連商業
中央試驗　四―二　用度B
滿鐵本社　五―四　用度A

此回滿鐵本社川上四敗の後大奮戰して敵を總ざめにする

▲準決勝戰

天狗　五―二　中央試驗
川村　一―三　中村
河田　三―〇　橫地
上田　〇―三　吉丸
峰川　三―二　川久保
安岡　三―一　栗山
河田　三―一　中村
峰田　三―二　吉丸

▲滿鐵本社　四―三　數島

終始白熱し觀衆熱狂す

小名　〇―三　片岡
野間　〇―三　三代崎
金子　三―一　毎熊
貫山　一―三　黑川
川上　三―〇　菊地
金子　一―三　片岡
川上　三―一　三代崎
川上　三―〇　片岡

優勝戰

▲天狗五―〇滿鐵本社

河田　三―二　川上
河田　10―6
　8―10
　10―7
　8―10
　10―9　川上

以後本社側棄權す

右試合終了後東瀨戶卓球協會理事より天狗俱樂部へ優勝旗、優勝盃滿日賞、滿鐵本社賞品を授與し、午後八時盛會裡に終了した

フルマラソンの練習を開始
昨日大連Aクラブの一流選手が七哩走破

來る四月十三日本社主催の本社祭大嶺間往復フルマラソンに備へる爲め大連Aクラブでは二十三日午後二時半より初練習を開始した、岡、永谷、山下、金光、八重樫、堤等の一流選手及び約二十六名の長距離選手は折柄の小雨を衝いて大連運動場を出發、伏見臺より松山臺ラヂユーム溫泉橫より遊覽道路を通り鏡ケ池に拔け再び伏見臺に歸り約七哩（六千米）を走破午後三時二十分歸着した、尙Aクラブでは毎月二回づゝ練習を行ふが一般の參加を希望すると

この暖さはまた少し冴返る
例年より八、九度高い

この數日來の暖かさは滿洲二月の氣候としては氣味惡い程で外を步いてゐても汗ばんで着てるオーバーが重く邪魔に感じられる程だが右について觀測所では語る

二十日頃より北滿に低氣壓が現はれ南方の山東方面に高氣壓が出てきた爲め南風が吹續け山東以南の暖い氣溫を運んで來るのでこんなに暖い、この氣壓の配置は二十一日迄續いたが二十二日晝頃より移動し始め高氣壓は間宮海峽邊りに現はれ北滿地方が高く南方が低くなつた爲め二十三日夜頃より北風に變るから氣溫は可成り低下するだらうがもう今後大した寒さは來ない、尙この二、三日の氣溫は平均顯氏四、五度で例年の零下四、五度に比せば八、九度高い

蒙古學生に學費を補助
張作相氏感謝さる

張作相主席は南北統一靑天白日旗の下に淸朝の遺物たる十旗の旗署が存在せる事は不合理であるとし昨秋之を撤廢すると同時に十旗官兵の俸餉を取消し此の年額吉林大洋十二萬三千元を旗生學費の補助に充當した爲め一般旗族から大に

稱讚さる〻に至つた今各方面の旗費生に對する補助分配額を擧ぐれば次の如くである

▲大連滿鐵々道敎習所二十四名、一名年額金二百四十圓總額五千七百六十圓
▲ハルビン工業大學百二十七名、本科年額哈大洋八百元、豫科年額哈大洋六百五十元
▲國內北平、天津、上海、漢口、奉天等各地大學本科生九十名、一名年額現大洋二百元、豫科九十名、年額現大洋百元
▲吉林大學本科五十名、一名年額吉林大洋百六十元、豫科七十名八十元
▲歐洲留學三名、一名年額百二十磅總額三百六十磅
▲米國留學三名、一名年額六百弗總額千八百弗
▲日本留學十五名、一名年額金七百二十圓總額一萬〇八百圓
▲省內高級中學及後期師範百六十名、一名年額吉林大洋四十元、初級中學四百五十名、一名年額大洋二十元（吉林特信）

交通事故の死者二百名
負傷者二千四百名
昨年朝鮮において

交通機關の進步と共に交通事故の頻發は已むを得ぬところであるが朝鮮內における事故につき總督府警務局の調査によると昭和四年一月一日から同十二月卅一日迄一ケ年間に於ける事故は

▲自動車事故　二千三百三十二件死亡者九十六人負傷者一千六百六人、內譯從業員の過失による死者六十人負傷者八百二十九人被害者の不注意死亡者二十九人負傷者六百三十一人其他死亡四人負傷七十七人故障死亡三人負傷者六十九人

▲電車事故に因るもの六百八十三件死亡者十四人、負傷者五百七人內譯從業員過失負傷者百六十人被害者の不注意死亡者十四人負傷四百二十八人其他負傷者二十七人

▲私鐵事故　二十七件死亡者二十九人負傷者廿五人、內譯故障にするもの負傷者五人、從業員の過失死亡者九人負傷者九人被害者の不注意死亡者十七人負傷者七人其の他死亡三人負傷四人

▲國有鐵道事故　九百四件死亡者百六十八人負傷者百七十二人內譯故障によるもの死亡者一人負傷者九人從業員過失死亡者十一人負傷二十四人被害者の不注意死亡者九十五人負傷者百七人其他死亡者六十一人負傷者三十二人で

總計件數四千百八件死亡者三百七人負傷者二千四百十八人である（京城特信）

佛國一流商人が北滿に目を着く
近く視察に來る模樣

歐米を視察旅行したものでパリーを訪ふ邦人のモダン連が必ず一度は尋ねると云ふ、そして日本で有名な香水蒐集者として知られたものが慣いたコテイ印香水の製造元を初め世界に鳴り渡つてゐるシャンパン製造家其他フランス一流の商人の一行が近くハルビンに販賣擴張の爲來ると云ふので各方面では注目してゐる、最近英、米、獨の各國商人が南支方面から滿洲に各自獨特の工藝製品機械類の輸入開拓に遠征して來るのでフランスの商人も亦其の陣營に割込まんとするので、北滿は日、英、米、獨、佛の各商權爭奪の地となりつゝあると（ハルビン特信）

高峯博士の遺子が十四階から墜死
紐育のホテルに投宿中

【ニューヨーク廿二日發電】ジヤスターゼとアドリナリン劑の發明者の高峯讓吉博士の遺子にして當市外クリフトンに在る高峰研究所長日本三共製藥會社監査役高峰讓吉氏（四二）は二十二日朝當市ルーズベルトホテル十四階の窓から過つて顚落し頭蓋骨其の他重傷を負ひ直ちに入院加療中絕命した

科學の力によつて人間が出來る
米國へ博士の新學說

「科學は次第に生命の物理的性質を明かにしつゝあるから將來人間が實驗室で各種の要素を綜合して作り得られる日が來るであらう」とは最近ニユーヨーク電氣協會に於て米國標準局音響實驗所技師ポール・ヘイル博士の

發表した新說である、左に博士の新說を紹介しやう

一九二九年は生命の物理的性質に關する研究が從來の如何なる年よりも進展した年である、生命は物理的並びに科學的性質を有するもので將來我々は其の眞相を突き止める時期が來るであらう、我々は今や石炭の燃える理由を理解し得るやうになつたが丁度之と同樣に生命を作り上げる過程を理解し得る時機が來るに相違ない、そして何時か生命の根原である所の原形質を作ることを知るであらう、余は過去二百年間に成就された

業績に鑑み爲し能はざることはないと思ふ、從つて余は科學が生命の神秘の解決に近づきつゝあると考へるのである、我々は既に人體の中で作用しつゝある各種の機關を人工的に作り得ることを知つた過去二百年間特に昨年中に於て既に此の程度まで到達し得たのであるから將來必ず生命を綜合的に作り上げる時代が來ることを信ずるものである、一八二八年ウエーラー氏が初めて有機化合物の組立に成功してから此の種の研究は日增しに發展し昨年遂にドイツのフイツシヤー氏は呼吸酵素を作り出すに至つた、この酵素は

血液中の血紅素から體內の組織に移轉させる過程に必要缺くべからざるものである、この酵素がなければ血液中の酸素を細胞に移すことは不可能なものである【紐育發聯合】

滿日地方版

金州

三萬噸の給水充分出來る
貯水池を築造せば六萬噸まで大丈夫

金州に水無しの惡宣傳に驚く内閣宛提出すれば確かに見込あり

昭和製鋼所州内設置に付當局の最も懸念して居る點は關稅問題と水問題とであるが稅關問題に就いては各方面共相當の諒解を得た模樣であるが水に付ては反對側の非常な宣傳に上京委員も狼狽し極力之れが取消しに努めて居るらしく上京委員よりの電照に接し取敢ず上水道の調査書類を送附したが調査する處に依れば目下各處に湧出する地下水を集めて一日優に三萬噸の給水能力あり尚閻家樓川上流の二十五哩鐵橋上の窪地に相當の施設を爲す時は茲のみにて一日二萬五千噸の給水を爲し得べき一大貯水池となる事が出來る、現下の處では州内設置に對する水の懸念は全くない譯である、尚目下三十里堡に一日二萬噸以上の地下水を發見した爲關東廳に於ては大童で徹底的調査に努めて居るがこれが實際となる時は實に一日十萬噸と言ふ多量の給水を有し金州をして立派な工業用地と爲すことが出來るのであらう、民政支署に於て調査した工業用水としての上水道は左の通りである

大正十五年に完成せる金州上水道
一日給水能率
最小減水時　七〇〇噸
最大增水時　三、五〇〇噸

昭和四年度中補助水源として試驗中の金州會南門外屯西關水田用井改築完成の結果に依るもの
一日給水能率
最小減水時　四、五〇〇噸
最大增水時　六、五〇〇噸

昭和三年度より現今に亘り關東廳土木課直營を以て試驗中の龍眼及馬家屯會楊家屯外三箇所に於ける現今の狀勢を以て試驗完成の曉は下記の如き數字を見るものとす
一日給水能率
最小減水時　一〇、〇〇〇噸
最大增水時　二〇、〇〇〇噸

現在の水源地上流に貯水工事を施し一大貯水池と爲す時は
一日給水能率平均　二五、〇〇〇噸

此の水源地豫定地は金州管内劉家店會を周包する董家溝、玉皇頂、番山、二十里堡、馬家屯會の六會、大和尚山山脈を以て周域する分水嶺内であつて此の降水面積は千百五十九萬九千四百五十一立坪あり、之れに平均降水量年五百粍位と假定すれば此水量は實に六億八千九百萬七千三百八十九立方尺の降水量となり是を蒸發滲水約四割位と假定する時は貯水年量七百六十六萬九千九十立方尺となる

州内設置は有望

二十二日午前十時加世田上京委員より左の如き電報があつたが當局としては水問題に非常に懸念して居るらしく惡宣傳に憤慨して居る
昨日特惠關稅問題に付き外務省と商工省を訪問す――滿鐵内にも新滿州設置に贊成者あり――

大石橋

市街中心に聯合演習
記念日の催し

陸軍記念日當日午前九時より守備隊在鄕軍人警察官小學校生徒滿鐵醫院救護班等參加市街を中心として盛に聯合演習を爲し終つて滿鐵グラウンドに於て分列式を行ひ終了後直に忠魂碑に參拜引き續き午前十一時より小學校講堂に於て生徒のため鳥羽中尉軍事講話を爲し正午公會堂に於て官民合同の祝賀會を催し從軍將卒の懷舊談軍隊の合唱等あり更に午後五時より公會堂にて幼稚園兒童小學生徒の童話獨唱高木隊長の軍事講話守備隊兵士の軍事演藝西川親子一派の軍事劇等の催しを爲す事に決定した

軍人後援會支部

軍人後援會大石橋支部長河内由藏氏は現在支部會員三百五十餘名を有し其成績良好なるは官民有志の後援宜ろしきに依るものと爲し廿日午後六時より日本館に二十餘名の官民有志を招待し謝意を表した

小林氏歸石

金融組合長小林才治氏は組合其他の要件を帶び十九日出連中の處二十二日午前三時着列車にて歸石した

營口

記念日の催し

來月十日の陸軍記念日に於ける當地の催しにつき二十二日地方事務所に於て協議會を開き領事館より片桐書記生軍人分會より樋口分會長、警察署より宇井警部補、憲兵分遣所より神内伍長外に松本、小川の兩氏出席、一忠魂碑參拜、二祝賀會、三講演、四活動寫眞映寫、五實歷談等を催すことに決定した

哈爾賓

流石は國際都市
市の吏員が市會議員に當選
失格者だと告訴さる

ハルビンは國際都市だけに市の自治會は他の都市よりは發達してゐる、處が二月五日開票した第三回の市會議員選擧の結果、當選したもの〻うちに買收當選した者許永銘一名あり選擧違反だと告訴されたが、姜汶運・劉啓先、穆文煥の三名はいづれも市政局の公吏である者が當選してゐる、これは嘘に被選擧者としての失格者であるから裁判されたいと告訴した、市政局に奉職せる公吏が市議員として選擧され當選して泰然としてゐる處に哈爾賓の市政局の價値があるのであらう

捕虜兵の赤化に愕いた吉黑兩省
監視付で仕事を與へる　往復通信も嚴重

滿洲里の役に露軍のために捕虜となつた支那軍約八千名は昨年十一月廿日から本年一月末まで約二ケ月間チタからハバロフスクの二地方に護送されてゐた際、ソウエート共產大學を卒業した鮮、支人の宣傳員が始終附添ひ支那軍閥の腐敗と孫文の三民主義教典よりはレーニズムの宗旨を遵奉した方がよいと口說かれ捕虜になつた彼等のうちには赤大根の皮を着せられボグラと滿洲里から釋放されたが「おまへのものはおれのもの」が共產主義だと敎へられたのだから六ケしい理論は拔きにして多少赤大根となつたものもあり、其後も共產黨の鮮、支人等が密かに國境を越えて東支沿線に潜入しレクドリスクに上つて赤大根張りの歸還支那兵と氣脈を通じ赤色から赤人參にしやうと秘密結社を組織しつ〻あること判明し愕いたのは吉林と黑龍省政府で、赤大根になりかけたものは監視付で仕事を與へ直に軍隊に編入せぬ方針を執るに至つたが、吉林省政府では特に各地郵便局に命じ往復信書の檢閱を嚴重にするやう内訓した趣學生と一部彼等のうちに連絡を執つてゐること等が發見されたと云はれてゐる尚吉、黑兩政府では今後も一層赤化宣傳の防止策を講ずる考へで先づボグラ、滿洲里の兩國境には赤大根のために特別の監視員を設ける意嚮であると

奉天

社金を横領 情婦と駈落す
瀋陽館で逮捕さる

東京猿樂町四十二番地合資會社々金四千三百圓を橫領し情婦谷山きよ(二七)と手に手を取つて奉天まで驅落をなし瀋陽館に投宿中逮捕された同社事務主任舟越任(三七)はその後奉天署に於て係官の取調べを受けてゐたが一先づ取調べが終つたので彼が鮮銀奉天支店に預けたといふ金三千九十圓も引出し前記兩名とも大連署から迎へに來た玉木刑事に渡され廿二日午後の急行で大連に護送された彼等は更に大連署で取調べをなし内地へ送られる筈である

聖旨傳達
瀨川侍從武官　廿二日に來奉

瀨川侍從武官は既報の如く廿二日午後三時四十八分着急行列車で遼陽より畑軍司令官と共に來奉、驛頭には林總領事を始め守備隊長、駐箚隊長、憲兵隊長、小倉地方事務所長、鈴木鐵道事務所長、鈴木特務機關長、川合署長、木下在鄕軍人分會長等多數の出迎へあり驛長室において各名士の挨拶終つて驛前廣場より自動車で瀋陽館に入つたが廣場には在鄕軍人、各區代表青年訓練所生青年團少年團、各學校學生生徒兒童、一般市民、支那側商務會代表等數百名堵列し出迎へた猶廿三日は各軍隊を訪問聖旨令旨を傳達する筈

長春

沿線視察の序に
ハルビンへ行くまで
赴哈の大藏滿鐵理事語る

大藏滿鐵理事は二十一日午後九時着列車にて來長、ヤマトホテルに一泊、二十二日夜哈爾賓に向つたが氏は語る
僕の哈爾賓行きを鳥鐵との交涉でもある如く一部では傳へたが全然根據のないことで僕は各地方部關係を擔當してゐるから鐵道問題にはタッチしない、謂はば沿線視察に出た序に哈爾賓まで行くまで〻ある、支那紙が僕の北滿行きについて排日記事を揭げたそうだが支那人一般が些細のことでもあればすぐ排日の口實にするやうな態度に出てゐるのは甚だ遺憾で、日露戰後の親日的傾向から今日の排日を來たすまでに二十年か〻つてゐると同樣に今後再び眞に日支親善の實を擧げるまでにはやはり二十年以上もか〻るかも知れぬ、然しそれは是非共必要のことであり又日本人否吾々に出來ねば吾々の子供の代になつてでも實現せねばならぬ責任だ

陸軍記念日祝賀協議
催し物決る

二十一日午後一時から地事會議室に於て田代領事、濱田中佐其他官民有力者三十餘名參集、二月十日の陸軍記念日祝賀に關する打合せをしたが協議の結果左の通り決定した
▲八日　兩小學校、商業、高女各學校に於て日露從軍戰士の講演會を催し夜は軍事に關する映畫公開
▲十日午前九時半　三八聯隊を始め各學校生徒在鄕軍人分會、各團體少年團等より西公園南端空地に參集、約一時間に亘つて演習を行ひ十時半より舊グラウンドに於て探照、正午驛前にて解散、十一時より市内各町行進、午後一時からは祝賀會を催す

不衛生的な子供茶碗
奉天署の檢查

奉天署衛生係ではこの程管内における各陶器店から不衞生な陶器殊に市民に直接關係のある茶碗について檢查することゝなり不衞生と思はれる茶碗二個づゝを集め一々詳細に亙る檢查を行つた處左記子供用茶碗が不衞生であると檢定されたが一般人もこれが購入に際し注意されたいと
蓋付綠地に梅花印、蓋なし二人子供印、蓋なし列車印

客を裝ふて洋車强奪
珍しい犯罪

廿一日午後十一時頃小西門義和棧洋車夫尚振祥(三〇)が青葉町に於て一支那人を乘せ森町と南一條通りとの交叉點に差掛つた際突然一名の怪支那人が現はれ洋車夫に飛び掛り毆打し且つ布切れで口を縛はしめ乘客なる支那人もそれに加勢し拳銃如きもので脅迫し洋車を强奪の上一名は青葉町他の一名は南市場方面に逃走したこの兩名は共謀の上辻强盜を働いた模樣で目下犯人搜査中である

東亞煙草値下
銀安の影響で

昨年末現大洋本位で仕入れた外國品は最近銀安により相當な影響を受け洋酒その他外國煙草類は漸次下押しとなり二三割方の低落を見てゐるものもある東亞煙草でも之が對策に考究中であるが一、二割方の減價が餘儀なくされやうにならうと

瀋陽駄話

特別の事情があれば兎も角同じものを同じ市中で賣つてゐながら僅か廿錢のものでも三錢か四錢の差がある▲洋服の仕立賃の如きも何處から割り出したのか卅圓でござる䑓なら他の店に聞いて見い面の皮も厚いがよくもそれですまし込んだものだ▲どうしてこんなに値段に差あり暴利?を貪つてゐるのか見當もつかぬ又これが取締もなければ公定相場もない▲彼等に云はせると高價に仕入れたものを損をしてまで安くは賣られぬとの辯明それなら安く仕入れたものを安く賣るかといふとそうではない▲金解禁斷行で物價の低落を豫想して仕入をなしてゐる商賣人として眞にこの理由で營利金儲けを夢見てゐるか▲時代は移る不景氣は益々加はるこれでも營利本位が商賣政策か自縄自縛の憂目に逢はぬやうな準備は出來てゐるか

本溪湖

殖田局長來溪

二十二日午前十一時來溪官民多數の出迎へを受けて後煤鐵公司其他を視察し午後五時發南行する

人事
▲關東廳有田保安課長、松田高等課長來溪　即日離溪
▲高野劍道範士　武道獎勵の爲め來溪
▲煤鑛公司總辦鮫島宗平氏は大連方面出張中の處歸溪す
▲東京大倉鑛業會社重役川本靜夫氏　來溪

人事
▲畑關東軍司令官　廿二日來奉
▲殖田殖產局長　廿二日朝本溪湖へ
▲竹中滿鐵經理部長　廿二日本溪湖へ
▲松田關東廳高等課長　廿一日營口へ
▲有田同保安課長　廿一日遼陽へ
▲陳東支鐵理事　廿一日來奉

開原

瀨川侍從武官來開の豫定

滿洲駐箚軍慰問の爲め御差遣の侍從武官瀨川少將閣下は來る二十六日午後二時十五分開原驛御着守備第一中隊長憲兵分遣隊長在鄕軍人分會長其他有志出迎へ直ちに守備隊に赴き三宅關東軍參謀長閣下臨場同隊營庭に於て開原守備第一中隊並に憲兵分遣隊員に聖旨、令旨を傳達し狀況報告を受け同三時三十五分二葉旅館に着一泊の上二十七日午前八時五十七分發急行にて昌圖に向ふ豫定なりと

瀨川侍從武官昌圖の豫定

瀨川侍從武官は二十七日午前九時卅二分昌圖驛御着第二中隊長及地方有志御出迎へ直に第二中隊に赴き同隊營庭に於て聖旨、令旨を傳達し狀況報告を受け同隊内に於て晝食、零時十八分發列車にて四平街に向はる〻豫定なりと

四平街

多數は社會へ
男々しく踏み出す　小學校卒業生の志望別

搖籃を離れて幼稚園より高等二年まで九ケ年が間雨の日も風の日も學校の庭にいそしみて螢雪の功を積んだ四平街小學校兒童六十五名は近く擧行さるゝ卒業式を境にして長き歲月育ぐくまれし恩師や親しかりし學友に別れ巣立ちするとゝなつた、而して右六十五名の内上級受驗志願者は長春商業五名、奉天中學三名、鞍山中學一名、旅順中學三名、大連中學一名計十三名にして女子は長春高女四名、旅順高女三名、大連高女一名、大連女子商業三名、計十一名にして殘り四十一名は活社會に第一歩を踏み出すことゝなつた

各方面で祝賀する
陸軍記念日

來る三月十日の陸軍記念日の祝賀方法について二十四日午後一時より地方有志は地方事務所會議室に集合協議を遂げた當日の催しは左の如くである
午前九時十分より公園附近に於て軍隊並に在鄕軍人參加して田所大隊長指揮の下に模擬戰を行ふ、十時三十分模擬戰終了後隊伍を整へて中央大街を行進驛前廣場に至りて分列式を行ふ、十時五十分分列式終了後直に縣祥街の忠魂碑前に至り參拜、十時五十分小學生及一般人士は中央廣場に集合軍隊の行進に追從して驛前に至り更に忠魂碑を參拜して解散、十二時小學校講堂に於て田所大隊長軍事講話をなし十二時二十分守備隊内に於て祝賀會開催し祝賀會終了後守備隊内に於て餘興、午後六時三十分より小學校講堂に於て活動寫眞を公開

鞍山

藥學集談會

鞍山醫院醫藥學集談會二月例會は廿五日午後二時より本院三階廣間に於て開催されるが講演左の如し
一、我が國藥品工業の發達史　關本雅三
一、エスバッハ氏蛋白定量法に關する疑義　佐伯不二男
一、最近當地方に流行せし傳染性紅斑に就て　不破保充
二、變態性慾に就て　間野山松

吉林

居留民會議員の當選者決る
投票者は二百四十名

吉林居留民會議員の改選に當り最初立候補者出盛りの感があつたが選擧二日前に迫りて堀井慶太郎氏久保田愛城氏等の立候補聲明により遂に定員を超ゆる三名即ち十三名の立候補者となり、俄然一大激戰を現出し、何れも形勢逆賭し難きものがあつたが、愈々二十一日午前十時より投票開始の幕は切つて落され午後三時締切迄に有權者二百七十四名に對し投票者二百四十名の多數に達した、當日開票の結果當選者は次の如くである
一、粟野俊一　一四九票
二、久爾田孫兵衛　一四六
三、前田幸　一三七
四、露崎鋼太郎　一三七
五、寺坂亮一　一三五
六、堀井慶太郎　一三四
七、三橋政明　一三二
八、奧田一郎　一二六
九、常見章雄　九六
七、細野喜市　九三
▲次點者　森本留三、稻村峰一、久保田愛城の諸氏　九〇

吉林邦人減少
一月末現在數

吉林總領事館内に於ける在住邦人一月末現在數は左の如くである、之れを先月に比較すれば省城及商埠地で戶數三、人口二十五を減じた、尚吉長、吉敦沿線其他に於ても戶數一、人口二十を減じ每月減少する一方である

區別	戶數	男	女	計
城内	三六	三六	五二	一〇八
商埠地	二四一	四六八	三六六	八二四
計	二七七	四九四	四一八	九三二
九站	一三	一三	二	一五
烏拉街	一	一	[illegible]	一
樺皮廠	一四	一四	五	一九
敎化	一二	一四	五	一九
額穆	二二	一四	二	一六
計	三三	二六	一四	四〇

不景氣な料理屋

吉林に於ける料理店一月中に於ける賣上高は六千七十一圓十錢であるが、之れを各別に擧ぐれば次の如し不景氣を如實に物語つてゐる

金花	二、三七八、三〇錢
一二三	二、七三二、四五
大吉	五六七、三五
花月	三九三、〇〇
計	六、〇七一、一〇

戀と地獄 (51)
三上於菟吉作　鶴田吾郎畫

生の甘さ (二)

「ねえ、あるひはあたしをお嬢さまだなんて莫迦にするけれど、これでひとりでいろんな事を考へてゐるのよ。餘計なお世話だつてあなたは、お怒りになさるかも知れないけれども、あたしの考へではあなたが神田の社のやうな下らないところの仕事なんかで日を潰すのは、ほんたうに勿體ないと思ふの――それで、是非、近いうちにどうにかするやうにしなければと思つていろ〱考へて見た末、思ひあまつたから兄に相談したのよ」

藤田は、綾子の顏を改めるやうにして眺めた。

「――あなたは兄といふとすぐそんな顏をなさるけれど、あんな役人でもやつぱりあたしの兄ですもの――さうするとあの人のいふのに、お前がそんな程、詮三君の才能を埋もらしてしまふのが惜いならば何とでも助けて上げるがいゝぢやないか。お前は婚資として別の財產がある筈だ――とから言ひますの……」

「………」

「あたし、なんと莫迦者でせう、あたしには五萬だけの別の財產があつたのを、兄まかせにしてあつたので忘れてゐたのですわ――また、たとへ忘れないにしても、その財產をあたしから自由にしたいなど〻兄に申し出すわけには行かなかつたのですけれど――それで折角、兄もさう氣を注けてくれるのですから、ねえ、詮さん、あたしにあなたのために少しばかり何かさせては下さらない?」

詮三は默つて綾子の顏を眺めた

「ねえ、――もうかうなつてしまつたあなたとあたしの仲ですもの……あたしも他人ではくれないわねえ。あたしをよろこばせると思つて居る人が假してしまつて、郊外かどこかへ、もう少し綺麗な氣持のいゝ部屋を持つて、そして藝術に精進して下さいな――お金なんか寢かして置いては誰のためともならないわ。あたし一錢だつて自分のお金が要る身體ではないのだから。あたしの代りにあなたに有益に用つて頂きたいの……おいや?おおこんなすつて?」

詮三は答へなかつた。

おゝ、どんなに長く窮乏の苦を嘗て來たことであらう!

どんなに深く腸を嚙み破る生活の痛みを味はつて來たことであらう?――ほんたうに、もうさうしたものを嘗味はうものは十分だ!

そして、またどんなに、新らしい美しい、樂い日常生活か味はいたいであらう!どんな豐さと、快よさと、氣輕さとを嘗てみたいであらう!

詮三は曾て一度も此の世でさうしたものを味はい知つたことはなかつた。……

まして、新らしく美しく豐な日を、戀仲の綾子から惠み與へてやりたいと求められてゐるのだ。誰れに遠慮も氣兼も要ることではない……自分が承諾すれば、彼女は心底からよろこんで呉れるのだつた。

滿日文藝
滿日川柳
募集吟「待」

旅順　都一
辻占を買つて待人遂に來ず
沙河口　喜一
買物を女は持つて腹がへり
お化粧に亭主は足袋も穿いて待ち
大連　夢泉
辻待を呼べば脫兎の樣に來る
死を決し命令一下待つ心
旅順　柳月
待てゐる受驗へもれた博士の子
大連　可居
待人は來ず公園の夜の寒さ
お待ちかねだよと仲居に如才なし
大連　汀水
就職をまづ待遇を先に聞き
待ち兼ねた娘は辻で傘廻し
大連　萬洲女
待ぼうけ赤の電車にやつと乘り
へボ將棋待つたと相手の手を押へ
開原　狂喜
往診へもう一勝負と腰をする
一寸待て非常警戒線へか〻り
大連　若葉冠
落付けぬ心汽笛を待ちわびる
終點の電車なじみを待つてゐる
奉天　南陽
待合す場所を今夜は變へて見る
待命の伯父が自慢の勳五等
大連　五南
醉ひつぶれ何時のとこで妻を待ち
待たさる〻應接室へ煙草の輪
大連　溪聲
診察を待つ間不安た子を抱き
お銚子を待つ間女給のコンパクト
待つ事に決めて煙草に火をつける
四平街　溪翠
待つてゐますと電話へ念を押し
待つてゐた金の代りに意見狀
待合の奧で疑獄の種をまき
大連　柳子
辻待の俥屋なぶる醉ふた客
待たされただけ氣が揃ひ暗い道
旅順　醉雷
取組を內力待つたで氣がそがれ
先客が女と見えて待たされる
もう少し寢るとして待つ終列車
大連　農夫
麻雀へ一人が遲い呼び出し
旅行先で汽車を待つ間の走り書き
子の出世母は驛家の下で待ち
香川　宏影
母の乳待ちくたびれて泣きそびれ
待つてゐた返事待ち甲斐ない返事

三月川柳課題
○「春雜吟」三月五日〆切
○「巡查」同上
○「カフェー」同上
▽一題五句限り▽大連市彌生町一六高橋月南宛
滿日社文藝係

大連　木の葉
お待ちどう樣と散髮次を呼び
籤引で招待席の位置をきめ
大連　若葉冠
和らぐを待つ氣で叔父の世話になり
客加減まだ樂隊で客を呼び
大連　閑坊
露省した子へ着物の大案じ
それらしい足音に燃かき合せ
待ちぼうけ時計が出たり這入つたり
大連　子禾
待つ母へ初着をせがむ孫の母
餞別に待つといふ魔力あり

○詠史川柳
待賢門さくら橘惡源太
待つ甲斐に妹捨山の月田毎
大連　青々庵
春を待つぬぬのこの裾の切れはじめ
急病に落付く醫者の待ち遠さ
待つてる〻聞いた一言落付かず
金州　素礫
待の角誰れを待つのか往き戾り
戶障子を張つて春待つ新家庭
乳ばなれ母を待ちつ〻泣寢入り
大連　玉江
待たしては濟まぬせわしい下駄の音
連れ待つ欠伸二三度かみ占める
待つてたと言はぬばかりの猫が飛び
鐵嶺　柳風
延着のホームに寒い顏が待ち
待ちあぐ公休雨で棒にふり
大連　可居
待合の疊ひつそりと遊んでる
待合つて錢湯を出る若夫婦
大連　凡稚
當てのないサンタクロース待つ子供
ぢれつたい思ひの外の人が訪づれ
沙河口　峰康
父を待つ三つ兒窓から首を延べ
招待の席で熱辯脫線し
八重櫻に卷かれて春を待ち
撫順　古刀
黑襟が門で待つてる給料日
待合のどてら社長に似合ふ柄
招待券持つて遲うい客が來る

夕刊 滿洲日報 二月二十三日

第二次普選の收穫

民政黨絶對多數を占め政界漸やく安定を見る

政・民兩派の開き遂に百一名

【東京特電二十三日發】與黨か將た野黨か、天下の耳目を聳動した普選第二次總選擧の開票は二十三日拂曉を以て鹿兒島縣第三區を除き全部終了を告げた、結果は一般の豫想を遙かに凌駕し民政黨は驚異的多數を獲得して斷然他派を壓倒し去つた、而して最後に殘される鹿兒島縣第三區は正午頃までには、開票を完了したが既に民政黨は二百七十三名を占めてをり同第三區定員三名中二名政友會となりたるも政友は百七十三名に過ぎず從つて政民の開きは實に一〇一名の多きに達し玆に政、民は解散前と全く其地位を顚倒するに至り、民政黨は絶對多數により政界の安定を得、同黨の主義政策を思ふ存分遂行することゝなつた、今選擧に依る各派の分野並に解散前の分野は左の如くである

	新當選數	解散當時
民政	二七四	一七四
政友	一七三	二三八
社民	二	四
大衆	二	二
勞農	一	〇
地無	〇	一
革新	三	二
國同	六	二
中立	五	二二
缺員	〇	二一
合計	四六六	四六六

議長候補は藤澤氏

副議長も或は與黨より推さん

落選兩參與官と後任

【東京廿三日發電】民政黨は絶對多數を制するに至れるを以て來る四月の特別議會劈頭の議長選擧に於ては藤澤幾之輔氏を議長候補に推し同氏の當選を見るべく又副議長は友黨の關係上從來通り革新黨の淸瀨氏を推すべしとの說あるも一部は絶對多數を制する以上正副議長共我黨で獨占するが當然であるとの說も有力となつて居る、尙落選せる內ケ崎內務、岩切商工兩參與官は近く辭任すべきを以て其後任には早くも加藤鯛一、一宮房治郎、野田文一郎、平川松太郎、櫻井兵五郎の諸氏が擬せられて居る

三選擧區得票數

二十三日朝判明の分

【東京二十三日發電】今朝判明した熊本縣第二區、鹿兒島縣第二區沖繩全縣一區當選者の得票數左の如し

鹿兒島縣第二區
一六五六六 山本 實彦(民新)
一四〇四二 寺田 市正(政前)
一三一〇六 東郷 實(政前)
一二七九五 崎山 武夫(政前)
次點 一二七〇九 赤塚 正助(政前)
落選 尾崎末吉、逆瀬川仁次郎、天辰正守、加納喜七、富吉榮二

沖繩縣(全縣一區)
一四八〇〇 當間 嗣合(民新)
一二三八〇 漢那 憲和(民前)
一一四二八 仲井間宗一(民新)
一一三二〇 伊禮 肇(民前)
九〇九六 崎山 嗣朝(政新)
次點 七六〇九 花城 永渡(政前)
落選 渡久山寛常、國原賢德、新城朝功、竹下文隆、龜川哲也

熊本縣第二區
二五八二八 深水 清(民前)
二二六〇七 宮崎 高四(民新)
二二四〇〇 安達 謙藏(民前)
一八三八五 中山貞雄(政前)
一七三八五 中野 猛雄(政前)
次點 一六二〇九 上塚 司(政前)
落選 芥川忠雄

干渉呼ばはりは敗者の悲鳴

選擧を常道に引戻した

富田民政幹事長談

【東京廿二日發電】民政黨富田幹事長は語る

今回の總選擧の結果が豫想以上の好結果を收めて民政黨が壓倒的大多數を贏ち得たるは全く現內閣の政策が輿論の支持を得た事を立證するもので吾々の努力も輿論の前には格別の價値のないものと言ひ得る反對黨は此意外なる結果を見て政府の選擧干渉等と非難して居るが之は全く敗者の悲鳴であつて取るに足らぬ言ひ分である、現に司法省の視察員の報告を見るに政府の取締りは公正で警察官が積極的に干渉した跡は認めないと言つて居るに徵しても現政府が言論文章を重んじ選擧取締りを嚴重にしたるを立證するに足る、要するに第一次の普選に於いてゆがめられたる選擧を今次の選擧により常道に引き戻し眞に普選らしき選擧を行はしめ國民の意思を正確に選擧の上に反映せしめたと言ふ事は疑ふなき事實である、政局も總選擧の結果全く安定し政府は思ひ切つて經綸抱負を遂行する事が出來る以上濱口內閣の眞價を發揮するのは全く今後にある

われらは正しき戰を闘つた

冷靜に今後の政戰に邁進

森政友會幹事長談

【東京廿三日發電】森政友會幹事長語る

開票の結果は全く我黨の敗戰に終つた、元より立憲政治の形式的本義に基づき我々は此開票の結果について之を一時的にもせよ形式上國民の

意思の現 はれと見做さざるを得ぬ而して戰ひ其物を考ふる時我黨は總裁より全黨員に至るまで誠心誠意最善を盡し金力の賴むべくなく官憲の擁護なく所謂素面素小手の正しき戰をなしたるもので政界の淨化、選擧の革正に對しては我黨は可及的に良く盡し得たと考へる、若し今日の世相に於いて朝野兩黨の政治的責任に於いて國民の投票が自由に働き得たとせば斷じて今日の結果を見るべきにあらずと確信する、政府並びに與黨の革正を唱へ政界の淨化を口にせるに拘はらず國民の

自由意思 は遺憾ながら現內閣の手によつて蹂躙せられたのであつて昭和聖代の痛恨事といはざるを得ない政府は計畫的に一種のクーデターをなしたものであつて大浦內相によつてなされたと全く其軌を一にして居る我々は立憲政治の形式に鑑み暫く選擧の結果に服する處あるべし、然れども國民の生活そのものは國家の產業そのものゝ蒙るべき壓迫によつて轉て國民をして極めて近き將來に於いて新しき自覺を呼び起し今回なされたる總選擧の結果が眞に國民の幸福を代表するものにあらざりし事を知つて之が匡救の爲め

國民自ら 奮起せらるゝに至る事を確信して疑はぬ、我黨は之より靜かに來らんとする政戰に準備を整へる次第である尙ほ此壓迫干渉の下に當選したる我黨の鬪士は能く此艱難に堪へ得る一騎當千の人のみであつて此等の人々が一致團結邁往する時に於いては大いに國政運展に貢獻するものあるを信じて疑はぬ

政友今後の方針

選擧壓迫の材料蒐集

【東京廿三日發電】總選擧の結果については政友會の形勢頗る不振の狀態であるが二十二日政友會本部には犬養總裁をはじめ島田、熊谷選擧委員森幹事長ら會合し尙島田、熊谷、森三氏は同日深更に至る迄幹部室に陣取つて各地より刻々に報告し來れる情報につき鳩首凝議しつゝあり漸く憂色の色に包まれながらも全部の開票を待ち其成績の如何によつて黨としての最後の態度を決せんとするものゝ如くである而して此敗北の原因については無論政府の干渉壓迫に基くものであるとなし目下其材料の蒐集を急ぎつゝある、即ち政府は昨年七月組閣以來安達內相の手許に於いて解散準備をなし凡ゆる官權金權利權を利用して黨勢擴張に努め來りつゝあり愈々總選擧となるに及びては表面極めて平靜を裝ひつゝも頗る巧妙なる選擧干渉を試み野黨側の候補者を壓迫すると共に自黨候補者に對しては官憲の庇護により買收其他不法行爲を行ひたる事は明瞭なる事實であるから之に對して政友會は近く相當なる手續きをと天下に訴ふる方針である

軍事會議を續行

奉天派幹部百廿餘名

【奉天特電二十三日發】奉天派各機關幹部連百廿名は北陵別邸において引續き軍事會議が開かれてゐるがその主なる協議事項は左の通りであると

一、露國蒙古の邊境防務に關する件
二、徵兵制度の實行各派を師に編成替へ海軍及び航空軍の擴張に關する件
三、關內熱河邊境に軍隊の配備增加各軍の缺員補充に關する件
四、防露戰死者の賑恤金及び殘敗士卒に對する處置、四省剿匪に關する件
五、四省の金融統一公債の創當各鐵道の修築吉黑兩省礦山の開掘各大工廠の擴張に關する件
六、蔣閣に對する態度及軍情に關する件

◇…北白川永久王晴れの御成年式

陸軍士官學校に御在學中の北白川宮永久王殿下には本月十九日を以つて滿二十歲の御成年に達せられたので午前八時五十分御初の公式鹵簿に召され近衛二十五騎の儀仗兵を從はせられて宮中に參內賢所大前に於いて嚴かに晴れの御成年式をあげさせられた(寫眞は參內の永久王)

日曜閑話

當落選擧後日譚

選擧は水物だ。油斷も隙もならず、さればといふて運七分、運動三分の選擧もある。そこで大物がポロリ〳〵と落選する。片岡直溫、山本悌二郎。元田肇などといふ巨頭も、マンマとやられた。いはゆる豎子をして名を成さしむるものであるが、人氣稼業である以上は、それも仕方はない。

元田國東翁などは尾崎咢堂、犬養木堂翁らと共に、議會開設以來の當選組、それが名もない陣笠にしてやられたのである。木堂は一度落選したことがあり、これで明治二十三年以來、十七回の榮冠をかち得たものは咢堂ただの一人といふことになつた。

何でもないやうで、この議員商賣も骨が折れ、新陳代謝は容赦なく行はれる。松浦五兵衛氏が十一回目で落ちた。山本悌二郎氏と片岡直溫氏とは共に第九回目に落選の憂き目を見た譯。それから宮古啓三郎氏が八回目で、磯部軍之佐、田中善立、小寺謙吉氏らは七回目で松本君平、大內暢三氏らも六回目で落ち。かくて新らしいところが押し出す。

◇

當選の最年長は何といふても犬養御大の七十六歲で、若いところでは御曹司の健君の三十五歲、この父子が年齡の上下を押へてゐるやうなものだ。高木正年などといふと、また弱年のやうでもあるがあれで七十五歲の盲年。尾崎、藤澤氏らが七十二、安達內相が六十七。

◇

ところで東京では堀利貞、安部磯雄、賀川豊彦、宮崎龍介、加藤勘十、松岡駒吉氏らが枕を列べて落選し、大山郁夫氏などが辛うじて當選してゐる。

地方にあつては京都で片岡、河上肇、細迫兼光、大阪で鈴木文治氏などが落ち、兵庫では小寺謙吉、埼玉で長島隆二、群馬で武藤七郎、千葉で吉植庄一郎、栃木では神田正雄、藤沼庄平、[illegible]生久氏が、三重では岸本康通、愛知で田中善立、靜岡で松浦五兵衛、松本君平、岐阜で匹田鋭吉、宮城で內ケ崎作三郎、岡山で鶴見祐輔、和歌山で田淵豐吉氏らが討死してゐる。

◇

かくて二大政黨萬歲、殊に民政黨萬歲といふ結果になり、過半數も過半數、全く壓倒的の大勝を占められた譯である。これでは景氣か不景氣かもあつたものでない。政友會としては田中內閣時代の不人氣が祟つたことは打消すことは出來ぬ。犬養總裁も皮肉の名人だが、大政黨を大きくして行く人ではないのだ。が今さら敗軍の將は兵を語らずといふ。敗れたりとて繰り泣き言をいふのは大人氣ない

◇

だが未だ、人に投票して主義政策に投票するといふ境地に至つてゐるのは遺憾である。が併し左樣に怒をいふことも出來まい。といふのは、かの八大政綱に向つて投票したといふよりは、あの濱口ライオンの人氣に向つて投票した向きが多いのではあるまいか。何はともあれ、今度の總選擧は色々な意味で政黨政治に澤山の教訓を示したといへやう。

政戰十八回目に思はぬ不覺

政界引退には良い機會だ

敗將元田肇氏語る

【興津廿三日發電】廿一日午後四時五十九分來興し水口家旅館に入つた元田肇氏に敗戰を慰して訪へば語る

今度は遂に落選しましたよ、第一回から續いたのは犬養、尾崎の兩氏と私と三人で今度は誰が缺けるかと思つて居たが私が貧乏籤を引いて了つた、淸瀨氏が立つので將來ある若いものを出して遣りたいと思ひ地盤を分け補した時は卅歲だつた今度で十八回目だ一番苦戰であつたのは明治四十一年の憲政三ケ月內閣の解散と大正三年大隈內閣解散の時だつた、此時は政友の領袖枕を並べて討死にし私一人が殘つた此經驗から苦戰と思ひつゝも大丈夫として居たが思はぬ不覺を取つた、勅選は民政內閣からでは有難迷惑で私は勅選などにはならぬ考へである、明日西園寺公に逢つて落選をお話してから歸京後溫泉にでも行き保養しましやう(寫眞は元田氏)

此際一層輿論喚起

篠崎書記長談

【東京特電二十三日發】大連商工會議所を代表して期成同盟委員と行動を共にしてゐる篠崎書記長は左の如く語る

今日まで運動したところによると、各方面の關係者においてもまだ滿洲の重大性を充分理解してゐない者が多い此意味において吾々の今回の運動は製鋼所問題に關連し、滿洲を經濟的に放棄することは如何に國家の不利であるかと言ふことを著るしく各方面に理解せしめつゝあるやうだ、滿洲を經濟的に放棄すべからずとの結論さへ理解出來れば吾人の精神も充分解るわけで之に就いて反響が相當あるのを見れば目的貫徹も決して困難ではあるまいと信ずる此際益々輿論の喚起につとめ當局を動かすつもりである

安義代表も上京運動

【安東特電二十三日發】昭和製鋼所設置運動の爲め上京する新義州商議加藤會頭は二十三日夜出發途中京城に下車して渡邊會頭と同道二十六日夜或は二十七日朝東京着安東商議荒川會頭と會見相携へて運動に着手する筈

政黨首腦を訪ひ最後の猛運動へ

製鋼所問題上京委員

【東京特電二十三日發】昭和製鋼所設置に關する大連上京委員諸氏は連日關係各省當局は勿論在京有力製鋼業者、貴族院有力者、拓務、滿鐵、大藏其他の出入新聞記者等を歷訪して國策的見地並びに經濟的理由よりして百年の大計に鑑み滿洲內設置の必要あることを力說し、殊に原料安と關稅其他國際的の關係上關東州內設置の最も有利なるを主張して猛運動をつゞけつゝあるが、其努力の結果は確に各方面に相當の反響を與へた模樣である、故に委員諸氏は更に貴院研究會の有力幹部、總選擧を終つてホッとしてゐる關係大臣各政黨首腦者を歷訪し最後の猛運動に移る可く勇氣を鼓舞してゐる

南京建都二周年

【吉林特電二十三日發】吉林省政府は國民政府行政院より四月十八日は南京建都二周年に相當するを以て、當日は省政府に於て記念式を擧行する外各機關、法團及び一般商民は一律に國旗を揭揚して記念すべしとの通令に接した

勞務上に有利

新式ショベルを輸入

鞍山製鐵所竹歲氏の歸朝談

【ハルビン特電二十三日發】鞍山製鐵所大孤山採礦所の竹歲茂雄氏は二十二日歐洲よりの歸途來哈した氏は語る

米國マリオン會社から製鐵所が購入したショベル約二ヤード半の機械を据ゑ付ける爲め同會社を視察して來たが米國では既に十六ヤードのショベルを使用してゐるのに驚いた、それで石炭を採掘するに上層の土を掘り返し約三米の石層をグイ〳〵掘り上げたのだが凡てに自然に惠まれてゐる米國だから引合ふのだミネラル鑛區から出る鐵類は品質も良く且つ採鑛の條件が完備しショベルの効用は立派に發揮されてゐる、鞍山の貧鑛もショベルを使用すれば勞銀の上に幾分利するであらう

北滿大豆を露領に移植

滿鐵に種子註文

【ハルビン特電二十三日發】東支ロシヤ側は滿洲に於ける各種大豆の品種を蒐集しウクライナ農事試驗場に送附し研究せしめると云ふのでそれ等の蒐集方を滿鐵農事試驗場に依賴した、其結果により北滿大豆をロシヤに移植栽培せんとする意向である

露支國境の防備方針を變革

今後は興安嶺中心に

【ハルビン特電二十三日發】散々國境滿洲里で手を燒いた支那側はこれまでの轍を踏まぬ考へから國境集中策の守備を放棄し滿洲里には騎兵の一部と主として特別區警察の保安隊をもつて治安を維持することに改め黑龍江軍の主力は興安嶺ハイラルを第一線として安全を計ることになつた、若し萬一の場合はいつでも滿洲里とヂャライノールは放棄するも差閊えない軍の配置を執るに至つた、目下ハルビンでは保安隊巡警五十名の募集中である

遼寧鐵道工場の規模

【奉天特電二十三日發】東北交通委員長高紀毅氏は鐵道材料の自國品主義の見地の下に奉天に大規模の鐵道工場の建設を計畫してゐるがその內容は東北各鐵路局より百萬元を出資基金と爲し機械、車輛、鐵軌、皮革、印刷、木工の六科に分ち敷地は東北大學工場を利用し解氷を待つて工事に着手する筈であると

あめりか丸 二十四日午前八時港外着

人事

▲淸水正巳氏(商店界主幹)廿三日出帆はるびん丸にて內地へ
▲石田禮助氏(前三井大連支店長)同上
▲野中時雄氏(滿鐵社員)廿三日出帆大連丸にて上海へ

天氣豫報

廿四日(北西の風)曇り驟雨又は驟雪後晴れ

各地の溫度

	十一時	昨日最低
大連	三、五	一、四
旅順	四、〇	一、七
營口	一、三	零下 二、五
奉天	一、〇	同 〇、七
長春	零下 一一、四	同 一一、四

暴風警報

廿三日午後一時より南滿洲附近一帶を警戒す

警邏船の遼海丸に重機關銃を備へる
船尾の五ミリ備砲とともに いよく威力發揮

海賊討伐、漁船保護、海難船の救援或ひは海上演習等に使用されてゐた大連水上署所有警邏船遼海丸は出動命令と共に何時にても出帆し得る様に用意が常備されてゐるしかして四月終りより五六月にかけて黄華魚、鯛の漁期も近づいて來たのでかねてより水上署においては同船に對し更に救援警護の意義を徹底せしめ同船の效果を强める意味で機關銃を設置する事を希望しこの旨警務局に具陳中の處

この程目的が叶ひ廿三日午前、關東軍兵器部より支給を受けた三年式重機關銃一基が關東廳經由同署宛屆け出でられた、かくて遼海丸はさきに貔子窩沖に於て海賊船を爆沈せしめた船尾の備砲五ミリ砲一基に更に精銳なる武器を具備する事となつた譯である尙廿四五兩日に亘り特に柳樹屯聯隊より大隊副官が出張これが使用方につき說明の上教授する事になつてゐる

馬賊侵入し 一千元强奪
牡丹江の邦人方を襲ふて

【ハルビン特電二十三日發】十八日牡丹江宮崎某方に六名の支那馬賊侵入し居合せた井口前民會長、山内木材公司員、山本龜太郎等から約一千元を强奪逃走した

登龍門に集る無名の勇士
三十七チームが覇を爭ふ 無段者團體柔道戰

滿洲柔道界の登龍門とも稱すべき大連講道館主催の第八回全滿洲無段者團體優勝旗爭奪戰は廿三日午前九時より大連滿鐵道場に於て擧行された、榮ある覇權を目指して御膝下の大連は勿論、撫順、奉天鐵嶺等沿線より馳せ參じたる無名の勇士等卅七チーム、控室は動きもならぬほどうづめられ應援の人々もさしも廣き道場をうづめ戰前すでに活氣を呈す九時前年度の優勝チーム大連一中より伊佐副會長の手に榮ある優勝旗返還され審判上の注意ありて愈々東西に別れ火花散り押相摩す試合は開始され各回とも接戰を演じたが正午迄の戰蹟左の如くである

▲豫備戰
二中 二——〇 大連警察
沙河口 三——〇 旅順警察
大連商業 三——〇 撫順園
鐵道經理部 一——〇 醫大C組
技倆伯仲し戰前の許にたがわず大接戰した太田(鐵)對山崎(醫)で太田袈裟固めでまづリードし後大將大野挽回すべく大いに努めたが遂にならず惜敗す
撫順二組 二——一 工大
▲一回戰
沙河口A組 〇——一 遼陽
四將松尾(遼陽)右大腰で藤井を倒す
憲兵隊 三——二 大石橋
二對二の大接戰を演じ黄木對二宮は引分け宮川(憲)對荒金(大)は袈裟固めで荒金を倒し辛勝す
育成 一——〇 工專C
三將迄引分け好漢山野(育)足拂ひで工專を倒し貴重な一點を擧

白晝兩替店を襲ふ
奉天に自動車强盜頻り

【奉天特電二十三日發】二十三日午前八時半頃目拔の浪速通り八番地兩替店長發銀號方に一名の支那人が支那側一九號自動車で乘り付け客を裝ふて侵入し突如拳銃で脅迫の上金、現大洋、奉天票取混ぜ四百圓を强奪し自動車に飛乘り城内方面に逃走した、春先きになると自動車强盜事件がよくあるので奉天署では大警戒をなしてゐる

共產大學の日本留學生減る
異彩を放つ中條女史
莫斯科からの土產話

【ハルビン特電二十三日發】最近モスクワから歸來した人の談によると「モスクワでは每年日本から共產大學に留學生として來るものが約三十名ゐるが、本年は日本國內に於ける共產黨檢擧で今は僅かに數名に過ぎない、邦人中で特に異彩を放つてゐるのは中條百合子と佐々木芳子の兩女史が盛に原稿生活をしてゐる、中條百合子女史は近くシベリア經由歸國する由である、兩女史の手によつてロシア文壇も幾分紹介されることだらう

國賓待遇の片山潜氏は農事硏究所に關係し極東の日本、鮮內に對する政策が餘り面白くないので昔日の面影はない政府は公娼制度を廢止したが

私娼が跋扈し其取締にはかなり惱まされてゐる、要するに社會的にみてよい處もあるが仲々に共產化が現實に徹底せぬので非常な背矛に苦しんでゐる」と

物凄い人氣に卓球大會始まる
會場にファン三百名

滿洲體育堂主催本社後援の第五回體育卓球大會は廿三日午前九時より常盤橋小學校講堂に於て擧行された無慮約三百のファンにとりまかれ各箇處より選ばれた選手は之等應援の人々の聲援に勵まされ白球飛び熱球躍つて試合は開始された午前中の勝負左の如くである

▲大連商業五——〇電鐵A
上田 三——〇 岩爪
岩崎 三——〇 太田
白石 三——〇 森谷
沖田 三——〇 森田
喜田 三——〇 畠山

▲用度A五——〇
山路 三——〇 高橋
谷口 三——〇 山田
齋藤 三——〇 大川
富田 三——一 田中
渡邊 三——〇 和泉
▲滿消クラブ五——一滿洲銀行
中井 三——〇 木原
深江 三——〇 工藤
丸尾 三——一 櫻井
藤田 三——〇 上旗
西脇 〇——三 土肥
中井 三——〇 土肥
▲天狗五——〇埠頭
埠頭棄權して天狗勝つ

中谷局長から消防旗授與
消防署の開廳式 けふ華々しく擧行さる

新築落成した大連消防署開廳式は二十三日午前十一時より市內磐津町消防署において華々しく擧行された朝來曇天なれど無風暖春めきて旅大及び沿線各地からの來賓多く約三百名、定刻——署の裏庭は櫻花と幔幕を巡らせて明るく飾られ正面の式壇には主なる來賓席を占め、勇ましき消防喇叭を合圖に式壇の前面には今井署長以下署員八十五名、組員六十名が整列する、斯くて榮ある消防署の前途を象徵する消防旗は中谷警務局長の手から嚴かに今井署長に授與、更に紐消防旗は中谷警務局長から伊藤組頭に授けられ、それより左の來賓の祝辭が朗讀された

太田關東長官(水谷地方課長代理)大連民政署長(富田庶務課長代理)田中市長、仙石滿鐵總裁(保々滿鐵地方部長代理)南滿電氣横田常務、記者協會(大連實業社長)大連公議會長

これに對し今井署長の答辭があつて式を終り、一同記念撮影の後、署前に於て消防實演の妙技を行ひ來賓の感興を湧かせた、かくて午後一時より裏庭における祝賀の宴に移つた【寫眞は消防旗授與式】

哈爾賓に肉がない
運搬費の徵收に憤慨した揚句 肉屋が一齊不賣同盟

【ハルビン特電二十三日發】一時も肉が無くてはゐられないハルビンで屠殺肉類の運搬費が高く食つて行けないと市政局に三十餘名の肉屋が押掛け値下げせねば不賣同盟だと二十二日から一齊に戶を閉めて對抗した、市政局は牛一四二元、豚四十錢、羊七十錢を徵收したので運搬費をこれまで支拂はない肉屋が市政局の横暴に憤慨したゝめで、ロシア人は肉が食へぬので困り、料理店を閉めるものもあり肉屋連は奉天當局に本問題の解決方を請願した、赴奉中の張景惠が如何に裁くか注目されてゐる

妻の家出から五名を射殺
實家で隱したと思ひ込み 逆上し獵銃で慘劇

【新潟二十三日發電】長野縣上水內郡古間村原正雄は二十二日午前二時頃妻トキの實兄新潟縣西蒲原郡小池村大字柳山農業藤澤惣藏(四)及び同人母チヱ及び三島郡大河津村大字新長野口梅吉の妻スミ(四)と自分の長男安政(八)長女チヨ(一)の二名都合五名を殺害し己は其の場で自殺を遂げたが、加害者正雄は惣藏の妹トキを妻に迎へたが、他に妾を置き家庭を空けるので妻トキは家出し歸宅しないので惣藏がトキを隱した者と思ひ込み數日前からトキを取戾す爲め惣藏方に來り談判したが、惣藏が曖昧の處から遂に逆上して有り合せた獵銃を以て前記五人を射殺したものである

政友小林氏の運動員取調

【岡崎二十三日發電】愛知縣第四區で當選した政友派小林錡氏は二十二日開票中岡崎檢事局に召喚取調べを受け一先づ歸宅を許されたが同派の運動員百餘名を引致し附近の寺院を借入れて取調べを行ひトラックにて順次檢事局に護送し名古屋よりも九名の檢事應援に出張し取調を行つて居る之がため小林氏の選擧事務所は大混雜を呈して居る

營業を停止
朝鮮料理店

市內逢坂町百十番地朝鮮料理店華山樓こと朴蓮守は昨年三月京城において張彩先(二)を三百十五圓で抱へて來連、定年に至らぬのに强制的に客を取らしたこと發覺、更に抱妓七名の賞與を昨年十二月及び本年一月の二ヶ月分を支給しなかつた違反行爲により大連署から二月廿三日より向ふ十日間營業停止を命ぜられた

稅所中將廿年祭

故旅順要塞司令官陸軍中將稅所篤文氏歸幽從滿二十年に當るので同司令部出身者にして在連の三十餘名を以て組織せる要司會の主催來る廿五日午後五時より譚家屯光明臺靈靈教本部において二十年祭を執行する事となつた

稅所氏は皇道會長として大連神社創立の功勞者であるので神社側からも多數出席する事なれば定めて盛儀であらうと

マッチ工場で不良工暴行
邦人數名重輕傷を負ふ 青島の爭議惡化

【青島特電二十二日發】過般來の紡績工場の爭議は不良職工の解雇により益々形勢惡化の傾きであらゆる手段を以て工場を妨害しつゝあるが、二十二日午後五時頃遂に青島マッチ工場に飛火し約五十名の不良分子が同工場を襲擊し窓硝子を破壞し表門を叩き破つて暴行を働きこの騷ぎに邦人數名重輕傷を負ひ日支官憲出動嚴戒中

感奮興起出世談
低能だ、白痴だと學校時代笑はれ者の少年が、奮起一番意外の大出世、見よ!一讀思はず泣かされる富士三月號の事實物語! 廣告

早春家出レヴュウー
喧嘩に花を咲かした夫が 捜査中に定期船で內地へ

市內八幡町二番地安部丹治は廿三日夜妻ノブ(三)と些細の事より喧嘩口論をおつぱじめたがカツとなつて妻ノブは前後の考へもなく家を飛び出したので初めの中こそ喧嘩に花を咲かせてゐた夫丹治も冷靜になると共に不安がつのり或ひは不祥事でも引起してはすまいかと蒼くなつて大連署水上署等に搜査願ひを提出するところあつた、しかるに水上署で調査したところ同女は赤革トランクを持つて丸髷に結ひ美々しく飾り立て丁度折柄の出帆はるぴん丸に乘船內地に向つた事が判明したのでこの旨夫に通知すると共に門司水上署宛手配するところあつた

夫を絞殺して情夫と同棲
二ケ月死體を押入に投げ込み 良心の呵責から心中

【東京廿三日發電】廿二日午後四時廿分頃東京市外瀧野川町字中里千四百七十番地東京鐵道局貨物係龍中西龜治(三)內縁の妻キクヨ(三)は情夫市外高田雜司ヶ谷九百七十八番地白井方同居人桂川正雄(三)と毒藥心中を圖り

苦悶中同時刻に訪れたキクヨの實母たか(五)が發見手當を加へ事情を聞くと兩名は昨年十二月廿四日夜共謀して龜治を絞殺し死體は押入れに投げ込んだ儘二ケ月を經た今日迄不義の同棲生活を續けて居たと申し立てたので母は驚き苦む二人を自動車で瀧野川署へ自首して來た

キクヨは昨年七月以來龜治と同棲してゐたが、八月出張旅行中に佐藤が留守宅に入り急速度に

不倫の關係におちていつたもので犯行後二人は常に良心の苛責に堪へかねたらしく廿二日キクヨは母を呼び寄せると共に二人は自殺を圖つたものである

教專生上海へ

教育專門學校では例年上海方面の視察旅行をなすが本年も日高教授に引率され教專學生三十名は廿三日出帆はるぴん丸で上海に向つた

遊戲中の幼兒溺死

市內臺山町廿四大連機械製作所鐵工職工重家(三)の長女郞金玉(三)は附近の畑中にて遊戲中、深さ二尺餘の汚水溜に墜落溺死して居るのを家人が夕食に歸宅して發見、博愛病院孟醫師の應急手當を受けたが蘇生しなかつた

石田氏離連

經育支店長に榮轉の前三井大連支店長石田禮助氏は廿三日出帆はるびん丸にて露子夫人同伴一先內地に向つたが埠頭には津久井新任支店長初め實業界方面多數知名士の見送りがあり賑々しく出發した

艶色生膽秘譚（33）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

蘭川屋敷（五）

蘭川は眠り不足な眼を醫さうと縁に腰かけ、庭の朝みどりを眺め乍ら、香ほりもたかい薄紅の蘭茶をすゝつてゐた。

と門前に駕籠が止つたらしい氣配。

「誰かな？——三藏めをおどかすためにああは云つたが、實以て安心はならぬ」

昨夜も眠りが淺かつたはこの所爲であつた。

「御客仁で御座います」

小間使が手をついた。

「ほら？」

「御婦人で御座いますが、是非先生にお目通りいたしたいと仰有つて……」

「ふうむ、診斷かな？」

蘭川近頃、愈々もつて醫道とは縁遠くなつてゐた。從つて、時たま病患者が訪れても事を構へて斷るが慣らはしであつた。

「いえ、何かいりくんだ御用ありげでゐらつしやいます」

「では逢はう」

小間使が下ると蘭川は、殘りの蘭茶をグイと飲み干し、また暫時はうつとり朝みどりの陽に映えたあざやかさをしみじみ見いつてゐたが、やがて立上ると書齋へ入つていつた。

挨拶もすまぬに蘭川、ヒヨイと胸に思ひあたつた。

「ははア、こやつ野ざらしお仙めだな」

虔しやかに裝ひつくしてはゐるものゝ、さてかくされぬはその眼のくばりかた、物腰であつた。

「御用のおもむきはそれがし承知いたしおります」

いきなり蘭川は先手を打つた。生膽を眼前につきだされた上、百兩いたぶられるよりはと思つたからであつた。

が、お仙にして見ると、そんな歸した金に眼をくれる筈はなかつた。

唯ひたすらに想ひつめてゐる化け船の濱人が左近であるか否かを確める事、しかも左近への紹介をたのむことが唯一の念願だつたのである。

で、默つてニツコリと微笑んだ。

「それが先生の御秘術蘭法の御診斷で御座いますか？」

さすがにお仙も負けてゐない。

「いかさまそなたが蘭小路での手練同樣、お互の得手でござるよ」

蘭川も空うそぶく。

お仙はかるく膝さへ立てゝ笑つた。

「でも妾が先生を御たずねいたしたい心の底は御見破り叶ひますまい？」

「なンの！」

かうは云つたが蘭川、此處で金のことは切り出せない。

さうなればこちらがヒケメになる。

「ではさつきりと御診斷下さいまし」

お仙はわるびれてゐなかつた。

蘭川はお仙のまなざし、明るく澄んで美しくはあつたが、どこかに艶をふくんできらめく處のあるそれがぶきみでならなかつた。

併し三藏が口を極めてほめたたえた如く、その艶麗さは嘗て覺えたことのない異樣な魅力となつてその身に迫つてくるのを感じた。

「蘭法の診斷にもいろ／＼ござる時にそなたの場合は讀心術が何よりでござらう、それとも誘眠術かな」

「あの誘眠術と申しますは？」

「かうしてそれがしと對座して居ればすぐそなたが眠りを催すのぢや」

「え？」

さすがのお仙もこれにはギヨッとした。

「しかも眠りにおちたが最後心に秘めかくしてゐる本心を明かすのぢや」

お仙は一寸後退りはじめた。が蘭川の眼は妖しく光りはじめた。

「それ、それ、野ざらしお仙どの、それがしの眼を見られい」

蘭川はヂリ／＼とお仙に迫つてゆく。

映畫『死の北極探險』
讀者優待割引券
（階上四十錢階下三十錢）
於演藝館
主催 滿洲日報販賣部

映畫と演藝

協和會館映畫

大連滿鐵社員俱樂部主催で明廿四日午後七時から協和會館に於て映畫會を催しパ社特作品「ニユーヨークの波止場」及び日活時代劇「傘張劍法」を上映、會費は大人五十錢小人三十錢會員外八十錢であると

決死的冒險の白熊の生捕り

全編興味と亢奮に埋つた映畫「死の北極探險」

「ザンバ」や「チヤング」で示された實寫映畫の面白味がこの映畫でも亦遺憾なく興味が唆つてスクリーンに展開されてゐる。而も單なる實寫映畫でなく北極探險の貴重なる記錄である。從來の實寫映畫が殆ど南洋及びアフリカの熱帶地方に限られてゐたのが、この映畫で始めて氷雪皚々たる北極の神秘の扉が開かれ、この意味に於ても見遁せない映畫である。

全篇を通じて驚異と好奇の場面に埋まつてゐるが、特に興味を惹く場面は碎氷船を追ふ海豚の群、北進するに從つて變化する鳥類の棲息狀態、海豹島に於ける珍しい海豹の生活、次いで壯烈な捕鯨の實況から興味は涯しなくエスキモーが危險極まる氷上に活躍する海象狩と進んで愈々白熊生捕のクライマツクスに達するのである。

カメラは開卷と共に實に巧に使用され時に望遠レンズの活用驅使に至つては驚歎すべきものがあるがこの白熊生捕の一卷に及んで實によく海を渡り氷上を走り氷下をくゞる一匹の白熊をカメラに捉へてゐる。追ひつめられた白熊は遂にザンバの如く猛然と探檢隊員を逆襲する刹那、投げ繩にかゝつて捕獲されるのであるが、この場面二三はトリツクを用ひない實寫映畫の面白味を發揮して餘す處がない

最後に至つては一九一三年に北極探險の犧牲となつて斃れたステファンソン氏一行の遭難現場のヘラルド島に於て先銳の遺品と遺骨を氷雪の間に發見して當時の遭難狀況を偲ぶところは惻々として胸を打つものがある。

この生きた北極探險の記錄はスクリーンに再生して計り知れぬ興味と亢奮と緊張に終始し撮影者シドニー・スノウ氏の功績は大きなものである。

◇◇傳奇刀葉林◇◇　帝キネ時代劇の革新第一回作品として映畫界の注目を集めた白刄亂舞篇で渡邊新太郎監督市川百々之助主演の十卷物【演藝館上映】

第十二回 滿日勝繼碁戰（高本氏二回勝三回目）

四子 高本大磯　二段 吉部義勇氏

——【4】——

○六一ヲの七　●六二ワの七　○六三ヲの五　●六四ワの五

○六五ヲの六　●六六ヨの七　○六七ヨの八　●六八カの七

○六九ルの四　●七〇ニの十四　○七一ハの十二　●七二ハの十五

○七三への十七　●七四への十四　○七五ニの十八　●七六ハの十七

○七七ハの十八　●七八ハの九　○七九ホの十二　●八〇ロの十三

▲清水二段講評　黒六十四は餘りに輕卒（い）と覗ひで先手となるべき處六十六に於ても此場合（ろ、は）と覗ひで先手とならん黒七十二は單に七十八に詰めるか又隅を締るとせば右下隅（に）に締るを適切とせん右上隅には未だ敵の迫り居らざれば黒七十四は（ほ）に頂け白（へ）なれば黒（に）と打ちて此隅を確保すべし

喋話

「死の北極探險」の試寫會で頗る愛嬌のある海象が▲海中に浮いたり沈んだりしてイナイイナイバーをして遊ぶので大笑ひ▲前週大日活で「大平兒」の出船の唄を解說者が合唱してお客を惱ましたので▲こちらだつて負けるものかと帝國館の宣傳部員と解說者が「鐵拳制裁」の合唱しようとレコードで目下猛練習中▲それでなくても惡いのに愈々聽味噌が腐ると近所で大恐慌▲タカが國產トーキーだと「大尉の娘」を馬鹿にしてゐた連中が試寫を見て「本格的だあれならトーキーだ」と擴聲器にかけて放送▲ところで大日活では廿五日の三の午に初稻荷祭をやり廿四、五兩日だけ割引する▲右門捕物帖は東亞の一番手柄と日活の三番手柄がカチ合つたがどちらが手柄をするか

ラヂオ

大連（廿四日）自午前十一時相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）▲自午後〇時卅分相場（特產、錢鈔各地相場）ニユース▲自午後三時卅分相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニユース▲自午後七時（一）ニユース（二）露語講座第三十課大連語學校グロースマン（三）源氏節鈴木主水彈語り原田しげ（四）三曲影尺八木村汲山、同辻泰正、三味線福永大勾當、同瀧武中勾當、箏低音木次初榮、同高音夏川とし子（五）長唄吉原雀快樂六紫會唄お鯉、同千代次、同梅太郎、同八千代子、三味線晉千代、同すみ濱、同胡蝶、同駒榮小鼓樂次、同小文同久丸大鼓晉丸（六）支那劇奈撇計連東俱樂部々員▲料理獻立▲天氣豫報

文藝

明日の演藝
小劇場運動の勃興に就て

志野羊吉

凡ての藝術の中で、古今東西を問はず、演劇ほど色々の意味に於て、民衆的傾向の濃厚であるものはない。

近代演劇は隨に民衆に接近掌握された——と云ふよりも寧ろ近代の民衆が、止むにやまれない心持の或る働きの一面から、演劇藝術へ突貫したと云ふべきではなからうか。

民衆は自分達の生活、或は動くとも自分達の心持の投影を舞臺に觀なければ胸が治らなくなつた。

ブルヂョア階級の人々より、よく現在の人間的惱みの深い民衆にとつて、演劇を單なる娯樂物と看破する以外に、漠然と或る光明が舞臺に投影してゐることを鋭敏な彼等民衆は認識したのである。換言すれば、民衆は、舞臺上に、自分達の人生苦闘の心靈を、慰藉するに充分な魅惑的な魔力があることを發見したのである。と同時に涯もなく纖麗な「演劇的美感」に陶醉せむことを切望した。

こゝに於て、民衆の或る者達が最も聰明な運動方法を考へた。この運動が所謂「小劇場」とか「野外劇」とか「農民劇」となつて現はれた。かるが故に、小劇場運動は、その勃興の動機が、民衆の意志に依つてなされたのであるから金儲けを主眼にする資本主義的な貴族趣味的劇場に比較すればこの運動は「藝術至上主義的」と「民衆的」傾向のよき意味の革命である。

さて、吾等の大連にも、この小劇場運動の喊聲が昨今いちぢるしくあがつて來た。

大連小劇場、滿洲新劇團、畸面座などの出現または甦生がそれである。

畸面座に席を置く私が、今これらの劇團について語ることは心苦しくも又許されないことである。が、これらの劇團が、實際運動に入つて公開された曉は、私共と同じ願望の强に講立つ運動の健全な發展を匿る爲めにも、相共に語ることが多いだらうと思ふ。

とまれ小劇場は、演劇の微細な「研究室」であり「實驗室」である。しかし、それだけの意味とすると小劇場と云ふものは、餘りに貴族的なものに聽こえるし、またなつてしまふ。入場無料で公開するのなら文句はないが、さうでないかぎり、つひには經濟的關係からまた資本的制度へ逆轉推移しないとも限らない。こゝに小劇場の經營に幾多の六ケしい問題が起るのである。ことに滿洲に於ける小劇場運動の惱みは、一般民衆の演劇熱や、それに對する理解力を仔細に推察するとき、一層深刻におびやかされるものがある。

小劇場存立の第一條件は財源である。と同時に秀れた劇場指揮者である次は？素質のよい觀客である。

觀客が洗練されて來ることは、よき演劇時代を創造する。これはきまり切つた理屈である。が、如何に入場料を安くしても如何に藝術味のある、しかも新鮮な演劇を提供しても、畢竟、觀客が劇場に來て與なければ問題にはならない。

大連に於ける小劇場運動の勃興は、演劇に理解を持つ民衆——「明日の演劇」を理解しやうとする民衆が多くなつた結果である。と結論されて良い。

吾等は遊惰なる一部階級の專有物の如く、玩弄された演劇を、或る程度まで奪還した所謂光輝ある「吾等の演劇」を、もつと〳〵吾等の劇場である、未來的な小劇場の舞臺に演じるべく同志の絕大なる支持に俟つ者である。

大連に興つた小劇場の三派
その同人と事務所

滿洲に於ける演劇藝術の向上と革新を目標とする小劇場運動が今春に入つて俄に擡頭し來り注目を集めてゐるが、既に先年組織された畸面座及大連小劇場が内容を充實してその基礎を確立すると共に實際運動に着手しラヂオ放送、公演會等の準備に專念しつゝあり、また大連YMCAのグリー俱樂部を中心として田邊四郎、後藤計吉兩氏らが最近滿洲新劇場を設立し近く大連劇場に於て第一回公演會を催すべく計畫中で大連に於て三派鼎立の狀態を呈し其の競爭的刺激によつて滿洲に於ける小劇場運動は急速の進歩を遂げるものと期待されてゐる。三派の事務所及び同人は左の如くである。

滿洲新劇場

▲總務部 田邊四郎
▲文藝部 大内隆夫 太上暎一 清水敬
▲舞臺部 傳城貢
▲メンバー 陶敬作、黒田賢、辻俊作、吉田辰巳、中澤新一、西條透三、外五名、女子部鈴木芳江外三名
▲事務所 大連基督教青年會館内

大連小劇場

▲舞臺指揮 楢木劍二郎
▲演出部 中川潤 里見凌洋
▲舞臺装置 柳澤修 東堂百合
▲美術部 東堂百合

畸面座

▲脚本部 下野好郎 郡上あきら 木島猬介 林田浩一郎 東二三男
▲プロムター 郡上あきら
▲總務部 田中いさを
▲記録部 東二三男 英純 木島猬介
▲會計係 英純 林田浩一郎
▲事務所 大連市八幡町二六番地 英純
▲總務部 永賀見太郎
▲脚本部 怨珠見 横澤宏
▲演出部 靜田晴雄
▲美術部 志野羊吉 小泉梧郎
▲事務所 大連市吉野町三二番地 横澤宏方

映畫展望臺
國產トーキー雜觀
大日活「大尉の娘」を見て

靜田晴雄

大連で最初に上映されたトーキー、フオツクスのムービートーンを協和會館で見てから、最近のミナ、トーキー「大尉の娘」までいくつかのトーキーを見、且つ聞いてゐる。其の内大連に於て上映された、及び上映されんとする國產トーキーの見聞感想記を書き綴つて見たいと思ふ。

最初に上映された國產トーキーはマキノの「戻り橋」であつたが全くの所エロキユーションを生命とする發聲藝術としての價値は全く零で、セリフは殆ど解らなかつた。其の聞き所々意味の解る所はあつても內容的面白味を覺える事は全く不可能であつた。勿論最初の國產トーキーたる「戻り橋」に對して期待しては居なかつたが、好奇的滿足をさへ得る事が出來なかつた事を殘念に思つて居た。

其の後外國トーキーが大日活に於てドシ〳〵上映され、國產トーキーはしばらく中絕して居たが、最近、外國トーキーによつて漸く本格的になつて來た吾々のトーキー眼の前に現はれたのが、同じくマキノの「侠艶錄」であつた。

「侠艶錄」は所謂パート、トーキーの一種と稱す可きものかも知れない。しかし其のシンクロナイズの不完全さに於て不滿は續いた殊に最後の子守唄に至つては、サイレント、ピクチュアー「侠艶錄」又は戯曲「侠艶錄」として持つ大きな力を絕對的に弱くしたものと云へる。兎も角もトーキーとしてたとへ興味的にしろ本腰になつて論じ得る作品ではなかつた。

次いで見たのは松竹の小林式トーキーと稱する長二郎主演の「弦冶店」であつたが、此れは嚴正なる意味から見て、發聲映畫とは云へぬ。たゞ映畫「弦冶店」とレコード「弦冶店」を連結した、レコード式音響映畫の一種である。しかもそれが非常に邪道的なものであつたが故に、素人眼をゴマカシ得る事は出來たのであつたが、識者にキネトホン以上の價値を認めさす事は出來なかつた。

最後に本月廿一日にミナトーキー「大尉の娘」の試寫を大日活に於て見たが、今まで大連に上映された國產トーキーがすべてディスク式であつたのに反して、此れはフイルム式であつた。私は此の「大尉の娘」について稍詳しく述べる必要を感じる。何となれば、眞の意味に於て、國產トーキーとして最初の本格的なものであり、或る程度まで國產トーキーの將來を暗示して居るかの如く思はれるからである。

「大尉の娘」はトーキーとして前述した三者より遙かに完成されたものであり、むしろ外國トーキーと比較し得る程の價値を持つて居る。勿論米國トーキーが既に獲得して居る形式的可能性を考慮する時は遙かに及ぶべくもないが、白と黑と音との總合藝術として其の發聲技術の點に於てはさほどの遜色を感じない。録音はあまり多くは入つて居なかつたがしかしそれが、殆ど不自然さを感じさせない點等外國物と其の優劣を論じがたい程であつた。唯々雜音が相當入つて居る事と、舞臺的効果に重點を置き過ぎた事は非常な失敗と云はねばなるまい。殘る所は唯舞臺的効果を重要視せぬ事にある、其の原因としては經濟的原因も存しやうし、表現能力に對する知識の不充分にも存しやうが、ともかくも舞臺藝術より進化した映畫藝術が又舞臺藝術に還元する事はトーキーを舞臺劇の模倣と云ふ小さな檻に入れるものである。むしろトーキーの發生を因緣として映畫的に第二段の世界に入るやうに努めたなればミナトーキーの成功を囑目する事が出來やう。

「大尉の娘」を見て、やがて光と影と音との交錯の輝かしい國產トーキーが出現するであらうと思はせられたのである。

ラヂオ露語講座

大連放送局二月廿四日午後七時半

講師大連語學校グロースマン

ТРИДЦАТЫЙ УРОК.

Почтовая Контора.

Вход.	Выход.
Посторонним вход воспрещается.	Курить воспремается.
Прием заказноп корреспондепции.	Прием телеграмм.
Прием денежных переводов.	Выдача денежных перводов.
Прием посылок.	Выдача посылок.
Выдача писем до востребования.	Продажа почтовых карок.

Разговор.

А.—Скажите пожалуйста, где здесь помещается почтовая контора.
Б.—Почтовая контора помешается на углу Нихон баси и Аояма улице.
А.—Это далеко отсыда.
Б.—Нет, не так далеко.
А.—А куда пройти туда. (А как пройти на ту улицу).
Б.—Идите прямо, возьмите первую улицу направо и идите прямо три квартала. Там вы увидате больмой пятиэтажный дом. Это и будет почтово-телеграфная контора.
А.—Очень Вам благодарен.

第三十課
郵便局

入口	出口
局外ノ者入ルベカラズ。	禁煙
書留郵便取扱所。	電信取扱所。
爲替取扱所。	爲替支拂所。
小包取扱所。	小包渡場。
局留郵便渡場。	郵便切手販賣所。

會話

A.—何ウゾ言ツテ下サイ，此處ハ何處ニ郵便局ガアリマスカ？
Б.—郵便局ハ日本橋ト大山通リノ角ニ在リマス。
A.—ソレハ此處カラ遠イデスカ？
Б.—イヽエ，ソンナニ遠クアリマセン。
A.—其處ニハ何ウ行キマスカ？ (其ノ町ニハ何ウ行キマスカ？)
Б.—マツ直グニオイデニナツテ最初ノ町ヲ右ニオトリニナツテマツ直グニ3區オイデ下サイ、其處ニ貴方ハ大キイ五階ノ家ヲ御覽ニナリマス、ソレガ即チ郵便電信局デス。
A.—大キニ有難ウゴザイマシタ。

創作
マネキンガール

三木四郎

朝。高架電車が蛇のやうに濡れて走つた。廣場には「生活の流れ」が滲み始めた。

生命、青春、そして生活。Sの三位一體は、しかし此處では頑くなな沈默が拒む。改札口から吐き出される黑い流れは——人々は冬服を着てゐたから——一つの葬列である。人々は疲れてゐた。一日の仕事を終へたやうに、朝から疲れてゐた。

篤子はその中で揉まれながら、ぼんやり想つた。お店の同僚、派手な貴夫人達。粗末な自分の着物に氣付いて、篤子は瞳を落した。

初子は姉の感情を敏感に讀んだ。美しい着物が、初子は思つた、お店で妾達を待つてゐるわ、そこに行きさへすれば！

篤子はM百貨店のマネキンガールだつた。

「そして今日からは妾も」

初子は期待と新しい不安に、胸を躍らせて、姉の袂をかたく堅く握つた。

× × ×

夫々の衣裳を女達は受け取つた。無數の眼が探照燈のやうに煌く。羨望、嫉妬、それから得意。その視線、その交錯。パッと咲き亂れた衣裳は、その焦點である。溜息が立昇つた。

「あの、妾」篤子はローブデコルテ風の華麗な御物を展げて躊躇した「からだが……」

振向いた主任は、濃い鬚を眉間に刻んだ。そして篤子の腰を探つた。默つて和服と換へてくれた。

初子の割當ては少女向きのドレスだつた。

女達が持場に立つと、開店の鈴が響き渡つた。どつと群集が押寄せた。老婆が人造大理石の階段で轉んだ。貪慾な眼を輝かした地方人が突進した。素早く一番よい場所を「占領した」のは、頭を光らせた若い男だつた。學校をサボつた中學生が面胞顏を硝子窓に喰付けた。マネキンは忽ちの中に取卷かれた。

陽は高い。

貴夫人が取澄まして、「しかし素早く衣裳と財布を商量して、階上に行つた。お伴の女中が羨まし氣にマネキンの顏を眺めて、あはてて女主人の後を追つた。

キネマの開場を待つ間を、大學生がその同伴者に囁いた。

「パリーのマネキンを、ミス・コレットがマネイヂしてたそうです」食堂を出た紳士が揚子を喰わへながらマネキンに微笑を送つたとまどひした亂髮の男が呟いた。

「婦人と小兒とは最もよき搾取材料である。そもそも百貨店に於ける經濟組織こそ」そして「資本論」分册を小脇に抱へながら、ふらふらと、マネキンに引き寄せられた。支配人がこの人々の中を、滿足そうな顏で歩き廻つた。

× × ×

最初の仕事に纏綿の、襞の多い眞白の衣裳を與へられた初子は、大喜びだつた。「まあ！妾はまるでウエンディ・モイラ・アンヂェラ・ダーリングみたいだわ」

姿見に映る素晴らしい自分に彼女は恍惚した。そしてその鏡を摘んでみた。するとそれがお伽噺のシンデレラ姫のやうに、思はれた。

篤子はぼんやりと戀人のことを想つた。「あの人は、妾の粗末な着物は見ても、妾の情は見てくれなかつた」そして今の篤子は高價な衣裳の肌觸りを娯んで居る。「もしこの姿をあの人が見たら」

篤子は一の事件を思ひ出した。篤子と同じ仲間の一人が、マネキンの衣裳のまゝで、晝休みに男と逢つた、といふ事である。「妾にはそんな勇氣はないわ。でも皆は賢いのね、こんな間違つた世の中では」そして勞るやうに無邪氣な妹を眺めた。

× × ×

陽は未だ高かつた。

大時計の針は、なかなか廻らなかつた。觀衆は一層殖えた。硝子窓は、體温と人いきれで曇つてゐた。マネキン達は、額に汗を滲ませながら、重なり合つた無數の顏を見廻した。そして媚笑にかくれて少しづゝポーズを强めた。男達はなんとはなしに、恍惚となつて、囁き合つた。そして充血した眼でマネキン達の肉體を汚した。

篤子は、裾を直しながら、妹を見た。

初子は、疲れた顏を上げて、姉を見た。

閉店の鈴は、なかなか鳴りそうにもなかつた。

そして、この「生ける人形」達は、硝子の籠の中でぐつたりしてゐた。それは裝飾用の氷つた金魚を思はせた。

滿洲日報
3月号
婦人畫報
女擬國会爐端会議
高松宮御婚儀大画報
同一線上を歩む夫婦
現代三角關係實話
戀は海を越えて
立山遭難悲話
奇蹟的大衆療法
科學的健康術十三種公開
ペン字上達法
無代
日下齒科醫院
歯磨スモカ
タバコのみの
鶴見祐輔著
自由人の旅日記
忽卅版!!
祖國日本は何處に往かんとするか?
價一圓八十錢
小説よりも面白い隨筆紀行!!
日本評論社
せっしやうかんぱく
殺生関白行状記
松崎實著
婦人倶樂部
三月號
名流美髪合評會
夫婦の愛情増進法
愛と汗に家を築く評判娘
現代娘に奨めたい事
婦人隨想
當代人氣男女の今昔寫眞物語
私の好きな女言葉・嫌な女言葉
試験時のお子様に大切な注意
男女兒の洋服下着作り方
結婚準備『奥様見習日記』
大人も喜ぶ變り雛色々作り方
利根の河畔貞女訪問記
いつも若々しくふけぬ秘訣
春先に多いニキビ吹出の療法
月經時の正しい手當と身嗜み
物の始まり物語
上品下品『女』さまざま座談會
新入學頃の子供編物さまざま
専門醫から見た育兒法の誤り
經濟で衛生的な便利東京帶の作り方
家庭向き雛菓子十種
三月料理
園藝家庭ごよみ
定價五十錢
大日本雄辯會講談社
最新刊
大連書籍部
大阪屋號書店
製本
活版・石版
諸印刷
滿日社印刷所
大連市信濃町岩代町角
三根眼科醫院
電話六四一〇番
痔の新治療劑
ヘミルチン

社説

民政黨に要望
勝利に善處せよ

明るき政治、公明なる政治をモットーとする濱口內閣の下に行はれた第二次普選總選擧は、民政二七四、政友一七三、無產五、國同六、革新三、中立五といふ結果を收めて、こゝに全く終局を告げた。

◇

〔illegible〕國策を一貫せんことを希望〔illegible〕間景氣は禁物である。〔illegible〕が人氣を呼ぶ好景氣である〔illegible〕、今日の場合、金棒で石〔illegible〕さつゝ、堅實なる進みを必〔illegible〕る。」

◇

それには幸ひ、國民總意の反映として、政府與黨が大勝を博したのであるから、その大勝に慢心することなく、壓倒的の過半數を占めた責任の重大なることを感銘し、堅忍の態度を以て國政に當らねばならぬ。過般の總選擧に當り、天下に宣明したる主義政綱を實行するの意氣を示すことにおいてのみ國民の信賴に酬い得るものといふべきである。多數黨の勢力のみをたのみ、その責任と使命とを忘却する如きは、民政黨のためにも良策ではないと思ふ。

◇

民政黨內閣としては、內治外交において、善處せねばならぬところの仕事を持つてゐる。まづ〔illegible〕の問題としてはロンドン會議の問題表面は兎にかく〔illegible〕全權を推擧した濱口〔illegible〕としては、世界平和のため、最大〔illegible〕國民負擔の輕減のため、最大〔illegible〕をなさねばならぬのである〔illegible〕支條約改訂問題の如き、日〔illegible〕共榮上これが解決に最善〔illegible〕惜んではならぬ筈である〔illegible〕問題としては、何といふても〔illegible〕後の財政金融問題に善處し〔illegible〕民の社會的、經濟的生活を〔illegible〕ることが肝要である。

◇

かくの如く絕對多數黨の責任と使命とを考察したるときは、さすがの民政黨も大勝の甘酒に陶醉して〔illegible〕國民は濱口首相の人格と民政黨の主義政綱に對して、兎に角照らして見やうといふことにある。その緊縮節約の國策を發揮せしめやうとしてゐる〔illegible〕時に勝ち誇つて、この國民を裏切るやうなことがあつてはならぬ。

◇

絕對多數黨となつた政府黨は〔illegible〕黨であつた時代を忘るること〔illegible〕例の濱口式の堅實主義をグングンとヒタ押しに押し進めることを要望する。まして多數〔illegible〕を恃んで橫暴を敢てするが如きは大いに〔illegible〕である。吾人は勝つて兜の〔illegible〕を締める以上に、民政黨が多數〔illegible〕の自重自制、勝利に善處せんことを望む次第である。

總選擧の各派得票數
民政黨 五六一一二三四票
政友會 三八六七一七七票
無產增し小會派減る

【東京廿三日發電】第二次普選の總決算〔illegible〕票の增加となつて居る、其他無產、國同等小會派も總計十〔illegible〕二百九十四票で前回の廿〔illegible〕七十二票に比し七萬九千〔illegible〕八票の減少である、尙各〔illegible〕得票數比較左の如し

〔illegible〕 一萬五千八百六十三票
〔illegible〕 一萬二千八百四十九票
〔illegible〕 四千九百十五票
〔illegible〕 一萬二百七十八票
〔illegible〕 五千三百四十九票
(鹿兒島縣第三區の投票數を除〔illegible〕)

國民が現內閣を信賴せるを立證
＝豫期通りの絕對多數を得た＝
◇―松田拓相語る

【東京廿二日發電】松田拓相談　今回の總選擧は現內閣の進退を國民の判斷に訴へた重要な選擧であるが、我黨が豫期通り絕對多數を得たのは現內閣が國民の信賴を得た事を立證したもので現內閣の政策が國民の共鳴を受けたものと言はねばならぬ、現內閣成立以來七ヶ月、民政黨が野に於いて國民に公約した諸政策は即ち財政緊縮整理、金解禁等を實行したことは國民の信賴を博し尙ほ現內閣を存續せしむべきとの輿論が遂に我黨に勝利を得せしめたもので、國民の總意は現內閣支持が國家憲政のため一大利益なりとの信念が發露せし結果に外ならぬ、現內閣は今後國民の信賴に感奮し其の抱懷せる諸政策を實行するが國民に對する一大義務と信ずる、玆に現內閣を支持せる國民に感謝し將來の後援を切望する

壓迫中で之だけ得れば成績はよい方だ
犬養政友會總裁語る

【東京二十二日發電】犬養政友會總裁談　選擧の結果から見ると政府の高唱する選擧革正は一向行はれてゐない、干涉壓迫至らざるなく或る縣は官吏自ら先頭に立つて買收を行はしてゐる、どうしても警察制度を根本的に改めねばだめだ、又比例代表制を早く採用し味方の喰ひ合ひを止める事が必要だ、無產黨の成績の悪いのは統制がなかつた事が原因であるが今の無產黨は金持ちや良家のお坊ちやん達の物好きのまゝごとの樣なものである、もつと眞物の無產黨が出ねばだめだ、我黨の成績は政府の壓迫の中で無手で之だけの成績を擧げ得た事はまあいゝ方だ、選擧の革正が行はれたのは野黨であつた、政界淨化の爲め一歩でも進めた事を自ら喜んでゐる

悄氣返つた政友會本部
森幹事長の怒り聲
犬養總裁も頗る不機嫌

【東京廿二日發電】山下町に堂々とそびえたつ政友會本部がこんなにしよげ返つて居るのを未だ誰も見た事がない、廿二日午後賴みの地方の結果が意外々々の連續だ、森幹事長はムツツリだまり込んで仕舞ふ、靑野事務長は引切りなしにかゝつて來る

電話の度び に「だめだだめだ」の連發、三木氏が三十萬圓も費したのは怪しからんと憤慨を洩らす、犬養總裁も頗る不機嫌だ「どえらい事になつた」と驚く黨員の聲「こいつは開きが大きくなるぜ」と驚く黨員の成績表の文字を眺めて、あきらめ兼ねる溜め息をつきあつて居る、東京六區の有志連が大會議室に集つて中島守利の當選祝賀演說をやつて居る「落選を豫想された中島先生が最高點を以て當選されたのは我黨に對する國民の絕大なる信賴の表明であります」燒け氣味の拍手が爆發して此處ばかりは景氣が好い、聽て

其の面々が 引揚げたあとは又ひつそり閑「申譯なし」「面目なし御許しを乞ふ」などの電報が森幹事長の机上にたまる、森氏の曰く「民政の勝利は彼等が如何に陰險な策謀を用ひて選擧に臨んだかを語るものだ、國民は軈て彼等の欺瞞を看破するだらう」と森さんの聲は何時になく怒りを帶びて居る

鹿兒島第三區當選者

【東京廿三日發】鹿兒島縣第三區

當選者左の如し
一四四一五　久留義郷(民元)
一〇八九四　津崎尙武(政前)
九九七六四　永田良吉(政前)
次點七七二二　山元龜次郎(社新)
落選前田侑、磯淸二、英義彥

參與官後任問題
次官級の人物を据ゑん
廿五日閣議で銓衡

【東京廿三日發電】落選した內ヶ崎作三郎、岩切重雄兩參與官は先例にならつて辭意を表明してゐるが政府は廿五日閣議で之を承認する模樣である、後任については選擧早々の事とて何等具體的銓衡が行はれて居ないが其地位が要職である關係上次官級の人物を据ゑる模樣である

大阪檢事局 違反檢擧

【大阪二十三日發電】選擧開票の終了を待つて大阪地方檢事局では果然疾風迅雷的活動を開始し二十二日早くも府警察部と協力普選の裏に躍る醜い影の摘發に着手した、大阪五區より立ち不幸落選の憂目に遭つた高松正道(國同)派の違反は最に取調中であつたが、買收のためにばら撒かれた金額は數萬圓に上る見込みで同氏の選擧事務長山內丑松氏は二十三日朝遂に留致され同派の違反事件で收容された者既に十六名に達した、なほ同區より當選した喜多孝治氏の運動員の違反も亦發覺し既に四名

新議長
藤澤氏選出確實

【東京特電二十三日發】民政絕對過半數を示した結果衆議院議長は元商相藤澤幾之輔氏恐らく選出されん

片野氏參謀等取調

【秋田廿三日發電】秋田縣第二區から當選した政友會の片野修氏の參謀縣會議員村上淸治氏は投票買收の嫌疑で取調べを受けたが事件は更に波及し擴大の模樣で既に數十名拘引さる

起訴された

在滿外人の金融機關調查

【吉林特電二十三日發】探聞する所に依れば吉林省政府は最近國民政府より外人の金融狀況調查報告方訓令に接した其大意は次の如くであると

中國年來の金融は既に外人に操縱せらるゝ所である、殊に東北省は外人の勢力絕大である上に又近來金票價格俄かに騰貴し國幣を超過すること數倍、之が我國の金融上に多大の影響を與ふるものなり、本政府は對策を講ずる上に必要なるに付き當該各省に於ける外人金融機關並に其の發行紙幣數等調查報告せらる一べし

山西金融公債の發行を中止
財政を破壞するとて

【上海廿二日發電】蔣介石氏等の中央執行委員は正に發行されんとしつゝある山西金融整理公債二千四百萬元は、政府の財政を破壞するとの名目で其の發行を中止するに決定し三月一日の全體會議へも上程するに決した、中央側の對閻軍備一切竝ひ閻討伐令は愈々三月一日の全體會議にかけ二日か三日發せらるゝ事に決つた、尙差當りの軍費として南京側は既に百六萬圓を調達したと

府縣別の各派當選者數
本社調查

地方	府縣	定員	民政	政友	社民	大衆	勞農	全民	地方無	國同	革新	中立
關東	東京	(31)	17	10	0	1	1	0	0	0	1	1
關東	神奈川	(11)	6	4	1	0	0	0	0	0	0	0
關東	埼玉	(11)	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	千葉	(11)	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	茨城	(11)	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	山梨	(5)	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	群馬	(9)	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0
關東	栃木	(9)	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	北海道	(20)	11	8	0	0	0	0	0	0	0	1
東北	靑森	(6)	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	秋田	(7)	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	山形	(8)	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	岩手	(7)	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	宮城	(8)	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	福島	(11)	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0
北信	長野	(13)	9	4	0	0	0	0	0	0	0	0
北信	新潟	(15)	9	5	0	0	0	0	0	0	1	0
北信	富山	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
北信	石川	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
北信	福井	(5)	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0
東海	靜岡	(13)	7	4	0	0	0	0	0	1	0	1
東海	愛知	(17)	11	6	0	0	0	0	0	0	0	0
東海	三重	(9)	6	2	0	0	0	0	0	0	0	1
東海	岐阜	(9)	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	大阪	(21)	14	4	1	0	0	0	0	2	0	0
近畿	京都	(11)	7	3	0	0	0	0	0	1	0	0
近畿	滋賀	(5)	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0
近畿	奈良	(5)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	和歌山	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	兵庫	(19)	10	6	0	0	0	0	0	1	1	1
中國	岡山	(10)	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0
中國	廣島	(13)	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0
中國	山口	(9)	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0
中國	鳥取	(4)	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0
中國	島根	(6)	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
四國	香川	(6)	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
四國	愛媛	(9)	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0
四國	德島	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
四國	高知	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	福岡	(18)	10	7	0	1	0	0	0	0	0	0
九州	熊本	(10)	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	佐賀	(6)	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	長崎	(9)	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	大分	(7)	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	宮崎	(5)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
九州	鹿兒島	(12)	2	5	―	―	―	―	―	―	―	―
九州	沖繩	(5)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		(466)	274	173	2	2	1	0	0	6	3	5

露支會議前途樂觀
支那との復交に期待をかけて
勞農側が重大視す

【ハルビン特電二十三日發】露支正式會議に對する當地有力者の意見を綜合するに、ソウエート聯邦は一時無條件放棄を聲明した東鐵を依然として實質的に回復してゐる現在にあつては **これ以上** の利益を支那から回復するの必要を認めてをらぬだらう、一九一九、二〇の兩年カラハン氏が宣言した當時のソウエートとして今回の時局により要求を回復したことがより有力となつて來た點に鑑みて、之からは「如何に支那をしてロシヤに好感を持たしめるべきか」又「如何にして支那をソウエートの友邦として且つ勞農主義に誘導するべきか」が問題である、だからモスクワ正式會議の前途に對しては英、佛、其他の列國と國交を回復した以上のより歡迎的な態度をもつて **支那全權** を迎へんとする準備あるは想見するに足るであらう、シマノフスキー全權が哈府に去る前日蔡運升氏の惜別宴に列した席上ロシヤの對支態度を說き「世界平和のためには露支兩國の聯盟を必要とする」旨を述べたと傳へられるが、若それが眞實とすればソウエート聯邦は露支國交回復に如何にモスクワ會議を期待してゐるかが判り、シ氏の言は確に一片の外交辭令でないことが窺はれるであらう、從つて露支兩國共にモスクワの正式會議の前途を樂觀し支那政府はこれによつて對外的の **局面轉換** 策に利用せんとする態度に出るであらう、但し露支兩國の接近によつて支那の社會に如何なる變動を招來するやは逆睹を許さず、この點は蔣介石其他當局の苦慮する處である

西北軍つひに洛陽を占領
一部は既に湖北に進擊

【奉天特電二十二日發】廿二日夜天津より入電によれば、西北軍は過日閻錫山軍と確實なる協定をとげたが遂に本日洛陽を占領したと、しかして西北軍は平漢線に沿ふて東進しつゝあり、その一部は既に湖北に進擊中であると

對蔣通電
閻汪等百數十名連名で近く發す

【北平二十二日發電】閻錫山及び全國各派要人百數十名連名にて一兩日中に蔣介石討伐通電を發すべく既に電文起草を終つた、香港の汪精衞よりも贊成の返電あり之れを以つて通電戰は打切られるものと信ぜらる

天津に戒嚴令

【奉天特電二十二日發】天津においては戒嚴令をしかれ通信電報等は取締られてゐる

軍縮會議の滿足な結果を得るは困難
各國新聞記者を別邸に招いて
英首相歎聲を漏らす

【ロンドン廿二日發電】マック首相は本日各國新聞記者をチェッカース別邸の茶會に招待し漫談を交はした、首相はフランス內閣の不安、英佛日米其他會議の前途難關多々ある點等により歷史的滿足な結果を得るのはなかなか困難だとつくづく歎聲を洩らし失望の色がありありとうかがはれた

支那生糸の對米輸出激增

【東京廿三日發電】昨年七月より本年一月迄の七ヶ月間に於ける支那生糸の對外輸出の總額は十二萬四千百八十七俵にして之を前年同期に比較すれば一萬千八百七十六俵の增加に過ぎぬが歐洲向けが一萬七千六百七十一俵減なるに反し對米輸出は二萬七千六百七十一俵の激增を來たせるは生糸輸出國たる日本の貿易關係上大いに注目を惹く處である

邊防軍總監部設置

【奉天廿三日發電】東北邊防軍司令長官公署では今次開催の東北四省最高軍事會議に對し奉天に各兵科其他の總監部設置案を提出し各省最高幹部の諒解の下に之を實現せしむる意嚮であると因に各總監部は次の如くである

△軍務總監部、步兵總監部、騎兵總監部、砲兵總監部、工輜總監部、軍醫總監部、糧秣總監部

滿洲粟の朝鮮輸出增加

【京城特電二十三日發】二月中旬に於ける滿洲粟の安東經由朝鮮內輸入は二百四車六千百二十噸で前年同旬に比して三千五百四十噸の增加であるが右は前年同旬は恰も舊正月休みであつたので特に本旬は顯著な入荷を見た譯である尙十一月以降の累計は四萬八千七百八十噸で前年に比し約三百噸の增加を見た本年は滿洲方面一般豐作の上銀相場安の關係上今後尙輸入增加の見込である

歐亞連絡會議

【ハルビン特電二十三日發】歐亞直通聯絡旅客會議は四月十八日から開催されるが五月十六日からはモスクワに於て貨物會議が開かれ東支鐵道から貨物關係の露支代表が出席參加する由

ジョンズ少將病氣で歸米

【ロンドン廿二日發電】ロンドン軍縮會議の米國海軍顧問ジョンズ少將は胃潰瘍を患ひ醫師の勸告により廿六日ベレンガイヤ號で歸米のため歸國する豫定である

上京委員動靜

【東京特電二十二日發】昭和製鋼所大連上京委員等は廿二日正午拓務省に松田拓相を訪問し關東州內設置に就き給水池、水原料等につき縷々說明請願するところありまた篠崎書記長は廿一日井上藏相を訪問して主として關稅關係につき種々意見を具陳した

太田關東長官
廿三日東京出發

【東京特電二十二日發】太田關東長官は豫定の如く廿三日午後九時四十五分東京發歸任する事となつた

小川殖產課長
免官發表さる

かねて辭表提出中であつた關東廳殖產課長小川順之助氏に對し二十二日附依願免本官の辭令の發表を見た

尾崎新署長披露宴

大連警察署長尾崎三郎氏の新任披露宴は二十二日午後六時よりヤマトホテルにおいて開かれた、來賓五十名、尾崎署長の挨拶に次ぎ森本地方法院長、來賓を代表して謝辭を述べ八時半散會した

安興相子

二十二日豐島法院辯護士室では今度の選擧のことで各自贔負々々の意見や雜談で賑はつてゐた▲竹田辯護士慨然として「河上肇が落選したのは全く痛快なことだが大山郁夫が當選したことは實に怪しからぬ話だ、あんな國體と相容れぬ樣な思想を宣傳する奴は殺して了へ」と大いにいきり立つてゐると▲他の一人が「ちや人を殺すことは國體に容れるんですか」で一寸考へたが「なに、殺して自殺して了へば良い」と意氣昂然▲尙先日福岡縣で選擧演說中白刃を振り翳した暴漢に襲はれた大衆黨の淺原候補が炭小舍に隱れて難を免れた話が出て、竹田君「炭俵の間に隱れてゐる奴を槍でブスリとやつつけたら痛快だつたらうになあ」

經濟部電話
八四五五番

滿洲關係の當選者は合計十九名に上る
こゝだけは政友が絶對多數
その現業と履歴

【東京特電二十三日發】政府の壓倒的勝利、在野黨の慘敗を示した第二次普選後の議會に新議席を占める滿洲關係の代議士は合計十九名で、其内譯は政友十二、民政六、中立一となり滿洲關係のみ見れば政友會が壓倒的多數を示してゐるのも面白い、又その内全くの新顏は松岡、北田兩氏で他は元三名、前十四名である、新代議士の出身、學歷、職歷、當選回數年齡など左の如し

山本条太郎氏　降旗元太郎氏　胎中楠右衛門氏　松野鶴平氏　永田善三郎氏　野田俊作氏　兼田秀雄氏　一宮房次郎氏　山崎猛氏　兒玉右二氏　森恪氏　小泉策太郎氏　櫻内辰郎氏　松岡洋右氏　門田新松氏

櫻内辰郎（東京一區民）五品理事長その他會社重役、早大卒業、東海ラミー、第二東海ラミー紡績社長、東海發動機專務、當選二回、年齡四十五歳

北田正平（千葉三區民）辯護士、京大卒業、元山東鐵道營業課長、年齡五十歳

永田善三郎（靜岡三區民）會社員、早大卒業、關東報社長、當選三回、年齡六十四歳

一宮房次郎（大分一區民）無職、東亞同文書院卒業、元盛京時報社長、大朝記者、當選四回、年齡四十七歳

森峯一（佐賀二區民）製糖會社長、麻布中學卒業、奉天森興業所主、當選二回、年齡四十八歳

降旗元太郎（長野四區民）新聞社長、早大卒業、元陸海鐵各省政務次官、當選九回、年齡六十七歳

胎中楠右衛門（神奈川三區政）會社重役、漢學熟修、元滿日重役、當選二回、年齡五十五歳

山崎猛（茨城二區政）無職、一高修業、元水戸市長、前滿日社長、當選三回、年齡四十五歳

森恪（栃木一區政）政友幹事長、會社員、元搭連炭坑關係、前外務政務次官、當選五回、年齡四十八歳

兼田秀雄（青森二區政）無職、早大卒業、元東朝記者、元滿鐵總裁秘書、當選二回、年齡五十一歳

門田新松（山形二區政）印刷會社長、慶大卒業、元五品理事長、當選三回、年齡五十五歳

山本条太郎（福井政）會社重役、政友顧問、前滿鐵總裁、當選四回、年齡六十四歳

小泉策太郎（靜岡二區中）無職、元五品理事長、當選七回、年齡五十九歳

松岡洋右（山口二區政）無職、オレゴン大學卒、前滿鐵副總裁、年齡五十一歳

兒玉右二（山口二區政）著述業、東大出身、前哈日社長、當選四回、年齡五十八歳

野田俊作（福岡三區政）無職、東大卒業、元滿鐵庶務課長、當選三回、年齡四十三歳

松野鶴平（熊本一區政）電鐵重役、元五品重役、當選三回、年齡四十八歳

中山貞雄（熊本二區政）會社重役、元東亞證券重役、當選三回、年齡四十三歳

清瀨規矩雄（大分二區政）豐國生命重役、元滿鐵總裁秘書、農相秘書、當選二回、年齡五十三歳

關東廳が大連市民を水不足から救ふ大計畫
大沙河に大貯水池をつくる
一千萬圓を投じて

關東廳では最近大連上水道の根本的大施設として今般同市を去る北方十七哩、大沙河に一日給水能力優に三萬噸を有する一大貯水池の築造を計畫、總經費約一千萬圓を以て之が完成を期することゝし已に

諸般の準備を進めつゝあるが右は目下同水道の給水能力（王家店一萬噸、龍王塘一萬二千噸）に對する市内消費量（昭和四年市一日平均二萬二千四百六十三噸）は已に一日約五百噸使用超過を見、又最近數ヶ年間の使用增加率より推定する時は目下工事準備中の第四期擴張工事譚家屯貯水池が昭和九年度に於て完成するとしてもなほ給水總能力三萬四千噸に對する消費量三萬四千五百噸となつて依然五百噸の上水不足を來す結果となるのが第一の理由で、更に第二には同廳に於て調査したる最近二十二ヶ年間に於ける現兩貯水池の降雨量、蒸發量と蓄水量との實際關係から見れば市内の

消費增加量約一割として計算する時、兩貯水池は今後滿三ヶ年即ち昭和八年一月には涸渇することゝなり、よし譚家屯水源地が同期より配水さるゝとしても昭和十年五月には同樣涸渇の止むなきに至るべき狀態にあるためであるが、幸てこの見地より水源調査會其他に於て研究の結果、以上の如く大沙河に有力なる水源を發見したので同地に一大貯水池を築造、大連までは鐵管を敷設して一日約三萬噸を送水することゝしたのであると

加奈陀への渡航許可の標準
外務省よりの通牒

關東廳外事課では二十一日附を以て管下五民政署に對し、今般外務省より通牒せられた呼寄に係る加奈陀行き妻子、農業勞働者家内使用人に對する渡航許可標準に關する件を通達したが、今後に於ける邦人のカナダ渡航許可は左揭の改訂標準により取扱はれることゝなつた

一、妻子――適法に加奈陀に入國し同地に居住する本邦人の呼寄又は同件に係る妻子（但し寫眞結婚に依る妻を含まず、又子は十八歳未滿の者に限る）にして在加奈陀帝國領事發給の呼寄許可證明書を有するもの

二、農業勞働者――加奈陀在留本邦人農業經營者に於て必要とし該經營者に依り呼寄せられたる善意の農業勞働者にして在加奈陀帝國領事發給の呼寄許可證明書を有するもの

（註）從來の定着農夫に代ふるに農業勞働者の名稱を以てす

三、家内使用人――加奈陀在留本邦人に依り雇傭の目的を以て呼寄せられ、善意の家內使用人にして在加奈陀帝國領事發給の呼寄許可證明書を有するもの

四、店員――加奈陀に本支店を有し、國際商業に從事する確實なる日本商社に於て必要とし、該商社に勤務する爲め、加奈陀に入國する移民店員にして、在加奈陀帝國公使發給の入國許可證明書を有するもの

（註）店員にして加奈陀に五年以上滯在の目的を以て入國する者は移民として、五年以內の者は非移民とす

五、非移民、店員の妻子、非移民の妻子（但寫眞結婚を含まず、又子は十八歳未滿のものに限る）にして在加奈陀帝國公使發給の入國許可證明書を有する者

六、再渡航者――適法に加奈陀に入國し同地に居住する本邦人にして一時日本に歸國し、再び加奈陀に歸還する再渡航者にして加奈陀移民官憲に於て發給し、且其有效期間を經過し居らざる登錄證書並に加奈陀帝國領事發給の再渡航許可證明書を有する者、但し昭和四年一月一日以前加奈陀を出國したる再渡航者に對しては從前通り在加奈陀帝國領事發給の在留證明書を有する者

（註）登錄證書の有效期間は發給の日より、加奈陀上陸の日に至る一個年にして特別の事情ある場合は右期間滿了前本邦加奈陀公使館に出願して之を延長し得るものなり

七、一時渡航者、商用觀光、修學其他一時的目的を以て渡航を出願する者に對しては其渡航が果して一時的なりや否やに就き嚴重調査の上一時的渡航者たること疑ひなきものに對してのみ旅券を下附すること

科學の力によつて人間が出來る
米國へ博士の新學說

「科學は次第に生命の物理的性質を明かにしつゝあるから將來人間が實驗室で各種の要素を綜合して作り得られる日が來るであらう」とは最近ニューヨーク電氣協會に於て米國標準局音響實驗所技師ボール・ヘイル博士の**發表した**新說である、左に博士の新說を紹介しやう

一九二九年は生命の物理的性質に關する研究が從來の如何なる年よりも進展した年である、生命は物理的並びに科學的性質を有するもので將來我々は其の眞相を突き止める時期が來るであらう、我々は今や石炭の燃える理由を理解し得るやうになつたが丁度之と同樣に生命を作り上げる過程を理解し得る時機が來るに相違ない、そして何時か生命の根原である所の原形質を作ることを知るであらう、余は過去二百年間に成就された

業績に鑑み爲し能はざることはないと思ふ、從つて余は科學が生命の神秘の解決に近づきつゝあると考へるのである、我々は既に人體の中で作用しつゝある各種の機關を人工的に作り得ることを知つた過去二百年間特に昨年中に於て既に此の程度まで到達し得たのであるから將來必ず生命を綜合的に作り上げる時代が來ることを信ずるものである、一八二八年ウェーラー氏が初めて有機化合物の組立に成功してから此の種の研究は日增しに發展し昨年遂にドイツのフイッシャー氏は呼吸酵素を作り出すに至つた、この酵素は酸素を

血液中の血紅素から體內の組織に移轉させる過程に必要缺くべからざるものである、この酵素がなければ血液中の酸素を細胞に移すことは不可能なものである【紐育發聯合】

遼海丸に備へる機關銃

この暖さはまた少し冴返る
例年より八、九度高い

この數日來の暖かさは南滿二月の氣候としては氣味惡い程で外を歩いてゐても汗ばんで着てるオーバーが重く邪魔に感じられる程だが右について觀測所では語る

二十日頃より北滿に低氣壓が現はれ南方の山東方面に高氣壓が出てきた爲め南風が吹續け山東以南の暖い氣溫を運んで來るのでこんなに暖い、この氣壓の配置は二十一日迄續いたが二十二日晝頃より移動し始め高氣壓は間宮海峽邊りに現はれ北滿地方が高く南方が低くなつた爲め二十三日夜頃より北風に變るから氣溫は可成り低下するだらうがもう今後大した寒さは來ない、尚この二、三日の氣溫は平均攝氏四、五度で例年の零下四、五度に比せば八、九度高い

フルマラソンの練習を開始
昨日大連Aクラブの一流選手が七哩走破

來る四月十三日本社主催の本社蔡大嶺間往復フルマラソンに備へる爲め大連Aクラブでは二十三日午後二時半より初練習を開始した、岡、永谷、山下、金光、八重樫、堤等の一流選手及び約二十六名の長距離選手は折柄の小雨を衝いて大連運動場を出發、伏見臺より松山ラヂユーム溫泉横より遊覽道路を通り鏡ケ池に拔け再び伏見臺より約七哩（六千米）を走破午後三時二十分歸着した、尚Aクラブでは毎月二回づゝ練習を行ふが一般の參加を希望すると

柔道無段者爭覇戰
三回戰迄の戰績

大連講道館主催の第八回全滿無段者優勝爭覇戰の第三回戰までの戰績は左の如くである

▲二回戰
中一―一〇遼陽
部警察一―一憲兵隊
大A一―〇大石橋
事A三―一大商B
部警察四―一鞍山
天警察二―〇育成
順對奉天は技倆伯仲して決せ協議の結果奉天の勝

▲第三回戰（〇印勝）
大A組二―一工事
部　引分け　中村
野〇崩四方　龍
下　引分け　武
中　引分け　河野
甲　右跳腰〇高瀨
野〇崩上四方高瀨
連二中四―〇大連西部警察
丸（背負投げ　池
田　引分け　庄司
幡（背負投げ手島
村（崩上四方東
尻〇腕逆　岩崎

▲若葉二―一奉天追場
谷井〇袈裟固め前澤
濱田　引分け　太田
松岡〇抱き上げ矢繼
田中（番）内股〇山田
田中　上四方　河村
▲大連警西一組二―一奉天警
賀門　引分け　奥田
小山　引分け　本郷
大木　小外刈〇增田
佐藤〇上四方　加藤
矢口　引分け　原口
佐藤〇崩横四方奥田
佐藤寢業を以て攻め奥田よく之を防いだが成らず惜敗す

哈府會議の犠牲者
支那人自殺

【ハルビン特電二十二日發】蔡運升氏が哈府で交涉の際、東支電信課の蔡某が露國に買收され支那側の意見が全部漏洩した事實あり、奉天から蔡を召喚したので蔡は自殺した、この裏面には蔡運升氏も關係あると傳へられ、支那側はこれが爲東支の電信課の檢閲は飽くまで行ふと主張してゐる

比島庭球大會

【マニラ二十二日發電】比島庭球選手權大會で佐藤、布井兩選手は連戰の成績で進め男子シングル決勝は二十三日右兩選手で行はれる事となつた

本紙讀者の慰安映畫會

【映畫】フォックス社特作品 死の北極探險 六卷
帝キネ時代劇 傳奇刀葉林 十卷
帝キネ現代劇 暗黑の街 六卷
【會期】二月廿四日より一週間
【會場】演藝館に於て開催
【會費】一階上 八十錢（讀者）四十錢　一階下（一般）六十錢（讀者）三十錢
主催 滿洲日報販賣部